

(受善青 7 - 1)

善法青少年センター遊戯棟ほか解体工事

図 面 リ ス ト							
意 匠 図				電気設備図		機械設備図	
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A - 001	解体工事特記仕様書	A - 031	新館棟 建具表	E - 001	特記仕様書-1	M - 001	特記仕様書
A - 002	アスベスト対策工事仕様書	A - 032	新館棟 基礎伏図・基礎詳細図	E - 002	特記仕様書-2	M - 002	屋外配管図
A - 003	付近見取図	A - 033	新館棟 床伏図・小屋伏図	E - 003	新館棟、遊戯棟解体 配置図	M - 003	新館棟解体 1階便所廻り平面詳細図（衛生）
A - 004	配置図・工事概要	A - 034	新館棟 軸組図	E - 004	遊戯棟解体 電灯・コンセント設備 1階平面図	M - 004	新館棟解体 1階平面詳細図（衛生・ガス）
A - 005	遊戯棟 仕上表	A - 035	現況外構平面図	E - 005	遊戯棟解体 電灯・コンセント設備 2階平面図	M - 005	遊戯棟解体 1階平面図（衛生）
A - 006	遊戯棟 1階平面図	A - 036	撤去外構詳細図(1)	E - 006	遊戯棟解体 弱電・自動火災報知設備 1階平面図	M - 006	遊戯棟解体 1・2階平面図（衛生・換気）
A - 007	遊戯棟 1階上部平面図	A - 037	撤去外構詳細図(2)	E - 007	遊戯棟解体 弱電・自動火災報知設備 2階平面図	M - 007	遊戯棟解体 2階平面図（換気）
A - 008	遊戯棟 屋根伏図	A - 038	撤去外構詳細図(3)	E - 008	新館棟解体 特記仕様書	M - 008	新館棟解体 1・2階平面図（換気）
A - 009	遊戯棟 立面図・断面図	A - 039	撤去外構詳細図(4)	E - 009	新館棟解体 配・分電盤結線図、取付図	M - 009	新館棟解体 1・2階平面図（空調）
A - 010	遊戯棟 断面詳細図	A - 040	撤去外構詳細図(5)	E - 010	新館棟解体 照明器具姿図	M - 010	新館棟解体 矩計図（参考）
A - 011	遊戯棟 平面詳細図	A - 041	撤去外構詳細図(6)	E - 011	新館棟解体 幹線・動力設備 平面図	M - 011	青少年センター解体 1階平面図(空調)
A - 012	遊戯棟 下屋断面詳細図	A - 042	撤去外構詳細図(7)	E - 012	新館棟解体 電灯設備 平面図		
A - 013	遊戯棟 天井伏図	A - 043	改修後外構平面図	E - 013	新館棟解体 コンセント設備 平面図		
A - 014	遊戯棟 建具表(1)	A - 044	改修後外構詳細図	E - 014	新館棟解体 弱電設備 平面図		
A - 015	遊戯棟 建具表(2)	A - 045	仮設計画図(1)	E - 015	新館棟解体 自動火災報知設備系統図、凡例		
A - 016	遊戯棟 床伏図	A - 046	仮設計画図(2)	E - 016	新館棟解体 防災照明、自動火災報知設備 平面図		
A - 017	遊戯棟 基礎伏図	A - 047	仮設計画図(3)	E - 017	本館棟撤去、改修 平面図		
A - 018	遊戯棟 基礎詳細図						
A - 019	遊戯棟 鉄骨軸組図						
A - 020	遊戯棟 鉄骨中間・側面詳細図						
A - 021	遊戯棟 鉄骨妻面詳細図						
A - 022	遊戯棟 下屋鉄骨詳細図						
A - 023	新館棟 仕上表						
A - 024	新館棟 平面図						
A - 025	新館棟 立面図						
A - 026	新館棟 断面図						
A - 027	新館棟 断面詳細図(1)						
A - 028	新館棟 断面詳細図(2)						
A - 029	新館棟 便所詳細図						
A - 030	新館棟 天井伏図						

章

項

目

① 適用範囲
(9.1.1)

② 法令等の遵守

③ 石綿含有
建材の調査
(1.5.1)

④ アスベスト粉じん
濃度測定
(9.1.1)

特

記

事

項

アスベストを重量で0.1%を超えて含有する、アスベスト含有建材の除去工事に適用する。

- アスベスト含有吹付け材除去工事(外壁仕上げ塗材及び下地調整材)
- 除去工法 (集じん装置付き超高压水洗工法
湿式集じん装置付きデイスグライダークン工法)
- 封じ込め工法 ()
- 囲い込み工法 ()
- アスベスト含有保温材等除去工事
- アスベスト含有成形板除去工事

施工にあたっては、「大気汚染防止法(昭和43年法律97号)」「労働安全衛生法(昭和47年法律57号)」「石綿障害予防規則(平成17年厚生労働省令21号)」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)」「建築基準法(昭和25年法律201号)」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)(平成12年法律104号)」「京都府建築物の解体等に伴う石綿の飛散防止に関する緊急措置条例(平成17年京都府条例45号)」等、石綿除去に関する諸法令に基づき適正に作業を行う。諸法令の適用及び運用は、受注者の負担と責任において行う。ただし、当該工事に関係のない事項は適用しない。

事前調査

- 施工計画に先立ち、改正大気汚染防止法第18条の17の規定により、特定工事に該当するか否かの調査を行う。
- 調査結果について発注者に書面を交付して説明を行い、調査結果その他環境省令で定める事項を、公衆に見やすいように掲示し、その写しを工事の現場に備え置く。
- なお、特定工事に該当する場合は、「特定粉じん排出等作業実施届出書」の届出内容について発注者に書面を交付して説明を行う。
- 施工計画に先立ち、石綿障害予防規則第3条の規定により、アスベスト含有建材の有無を調査する。
- 調査結果を記録し、作業に従事する労働者が見やすいように掲示する。

事前調査は、国土交通省に登録された機関が行う講習を修了した建築物石綿含有建材調査者、石綿作業主任者技能講習修了者、日本アスベスト調査診断協会に登録されたアスベスト診断士等が行い、資格証明書の写しを監督職員に提出する。

調査範囲 図示による ●解体工事範囲全て

調査事項

石綿使用部位の確認
石綿層の厚さの確認
施工範囲と工事管理区分の確認
更衣施設等の仮設計画
廃棄物等の搬出方法

アスベスト含有分析

○ 行う(分析結果を監督職員に提出する)

材 料 名	定性分析方法	定量分析方法
	○ (箇所数)	○ (箇所数)
	○ (箇所数)	○ (箇所数)
	○ (箇所数)	○ (箇所数)
	○ (箇所数)	○ (箇所数)

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
JIS A 1481に基づくこと。

- 行わない

既存の石綿含有建材の調査報告書の有与 ●あり ○なし

アスベスト粉じん濃度測定

- 行う

測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備 考
除去作業前	除去作業室内	○ 1点 ● 2点 ○ 3点 ○ 点	作業箇所
	調査対象室外部付近	○ 1点 ● 2点 ○ 4点	建物外周部
除去作業中	除去作業室内	○ 1点 ● 2点 ○ 3点 ○ 点	作業箇所
	負圧粉じん装置の 排出吹き出し口	吹出し風速1m/秒以下の位置 各 ● 1点 ○ 2点 ○ 3点	
	除去作業室外	● 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 4点	作業箇所
		○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ● 4点	建物外周部
除去作業後	除去作業室内	○ 1点 ● 2点 ○ 点	作業箇所
		○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 4点	
	調査対象室外部付近	○ 1点 ○ 2点 ● 4点	建物外周部

周囲の状況等により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。

- 行わない

測定機関 (公社)日本作業環境測定協会による「石綿含有の有無の判定及び石綿の含有率の測定が可能な石綿含有率分析可能機関」とする。

報告書提出部数 3部 ○ 部

章

項

目

特

記

事

項

5 仕上げ工事
(9.1.1)

⑥ 石綿作業主任者
(9.1.2)

7 特別管理産業
廃棄物管理責任者
(9.1.2)

8 アスベスト含有
吹付け材の除去
(9.1.3)

アスベスト対策工事

アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事

図示による ○ _____

石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者または平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。

特別管理産業廃棄物管理責任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。ただし、アスベスト含有成形板等の除去工事を除く。

施工業者

工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出する。

- 「吹付アスベスト粉じん飛散防止処理技術」について(一財)日本建築センターの建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。

除去を行う範囲

図示による(下地調整剤に含有)

- 全ての室
- _____

除去工法

- 改修標仕9.1.3(b)(1)による
- _____
- _____

除去を行うアスベスト含有吹付け材の仕様

種 類	種 類
○吹付け石綿	○
○石綿含有吹付けロックウール	○
○石綿含有吹付けひる石	○
○石綿含有吹付けバーライト	○
○	○

除去したアスベスト含有吹付材等の飛散防止

密封処理(二重袋梱包)

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。

湿潤化

- セメント固化
- 溶融固化

除去物等の保管

他の建設副産物等と分別して保管する。

飛散防止措置を講ずる。

アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。

除去物等の処分

廃棄物及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)の規定を遵守して行う。

- 特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分
- 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理
- 指定処分地((株)京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠2-1 TEL 0774-88-0431)
- なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。

章

項

目

特

記

事

項

9 アスベスト含有
保温材等の除去
(9.1.4)

アスベスト対策工事

除去を行う範囲

図示による _____

除去の方法

原形のまま手ばらし

- 手ばらし以外(この場合は改修標仕9.1.3(a)による隔離とする)
- 集じん装置付き超高压水洗工法

除去を行うアスベスト含有保温材等の仕様

種 類	種 類
○石綿保温材	○石綿含有耐火被膜材
○石綿含有けいそう土保温材	○石綿含有けい酸カルシウム板第二種
○石綿含有バーライト保温材	○屋根用折版裏断熱材
○石綿含有けい酸カルシウム保温材	○煙突用断熱材
○石綿含有水練り保温材	○塩基性炭酸マグネシウム保温材

除去物の処理方法

密封処理(二重袋梱包)

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。

- セメント固化
- 溶融固化

除去物等の保管

他の建設副産物等と分別して保管する。

飛散防止措置を講ずる。

アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。

除去物等の処分

廃棄物及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)の規定を遵守して行う。

- 特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分
- 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理
- 指定処分地((株)京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠2-1 TEL 0774-88-0431)
- なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。

章

項

目

特

記

事

項

⑩ アスベスト含有
成形板等の除去
(9.1.5)

アスベスト対策工事

除去を行う範囲

図示による (ボード類、下地調整剤に含有)

除去の方法

湿潤化したのちに手ばらし

- 湿潤剤等の噴霧、散水等により十分に湿潤化した状態で破砕
- _____

下地調整材除去

- 改修標仕9.1.3(b)(1)による
- 湿式集じん装置付きデイスグライダークン工法

除去を行うアスベスト含有成形板の仕様 厚みは図示による

種 類	厚 (mm)	種 類	厚 (mm)
●石綿含有スレート		●アスファルトフェルト	
●石綿含有けい酸カルシウム板		●アスファルトシングル	
○石綿含有押出成形セメント板		●バーライトモルタル	
●石綿含有岩綿吸音天井板		●長尺塩ビシート	
●石綿含有石膏ボード		●塩ビ幅木	
●石綿含有ビニル床タイル		●フレキシブルボード	
●石綿けい酸カルシウム板		●ビニルクロス	
○化粧石綿セメントけい酸カルシウム板		●モモセメント板(EP吹付)	
●吹付タイル下地調整材		●床目地材(ゴム)	

除去物等の保管

他の建設副産物等と分別して保管する。

飛散防止措置を講ずる。

アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。

除去物等の処分

廃棄物及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)の規定を遵守して行う。

アスベスト含有石膏ボード(管理型最終処分場における埋立処分)を除くアスベスト含有成形板

- 石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場における埋立処分
- 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理
- 指定処分地((財)宇治廃棄物処理公社 京都府宇治市池の尾仙郷山6-2 TEL 0774-21-2807)
- なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。

訂正

令和 年 月 日

株式会社 小笠原設計

OGASAHARA Architects & Engineers

1級建築士事務所大阪府知事登録(シ)第599号

管理建築士 硯 正人 1級建築士登録番号第238350号

設計年月

令和 7年 10月

工事名称

善法青少年センター遊戯棟ほか解体工事

図面名称

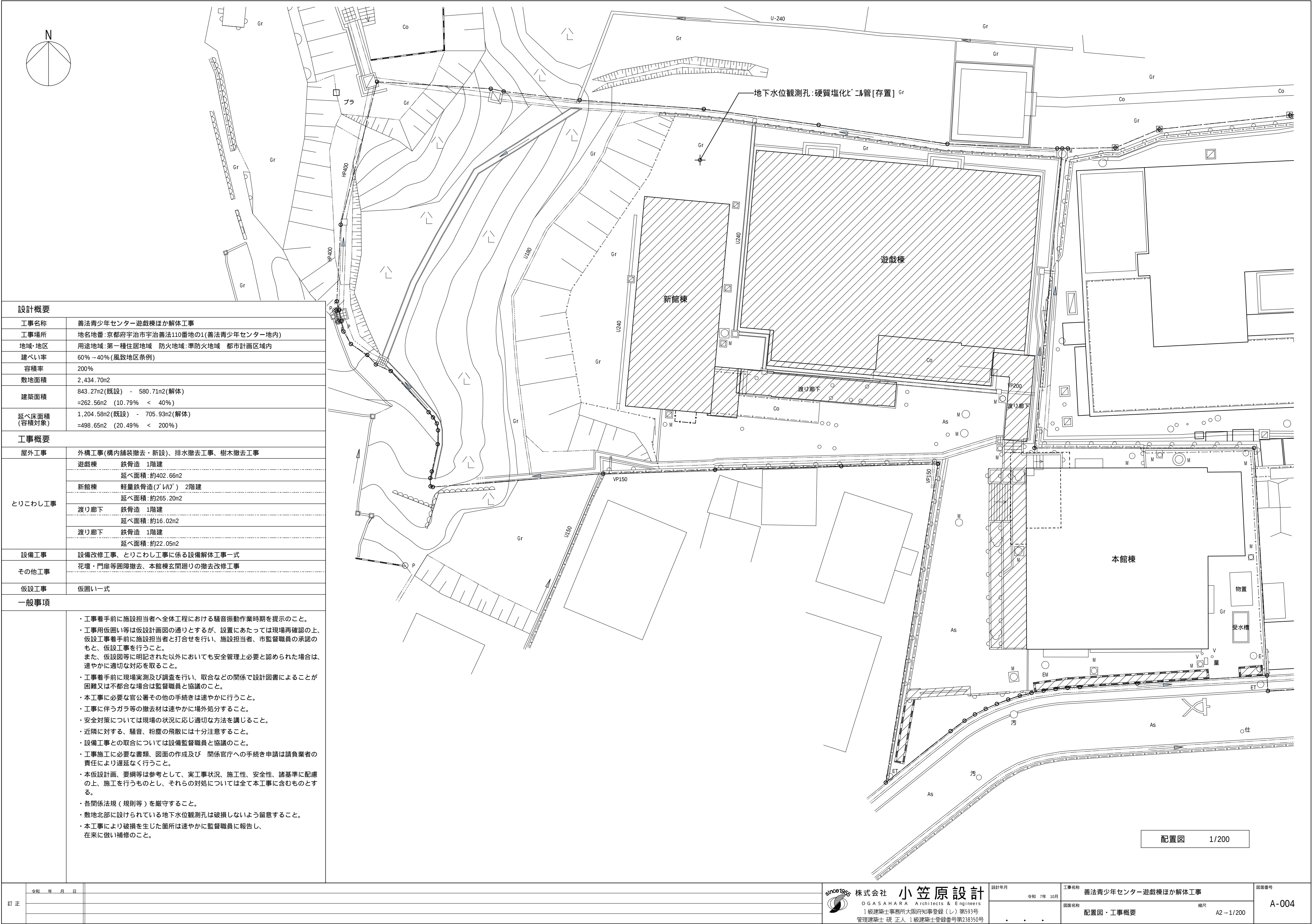
アスベスト対策工事仕様書

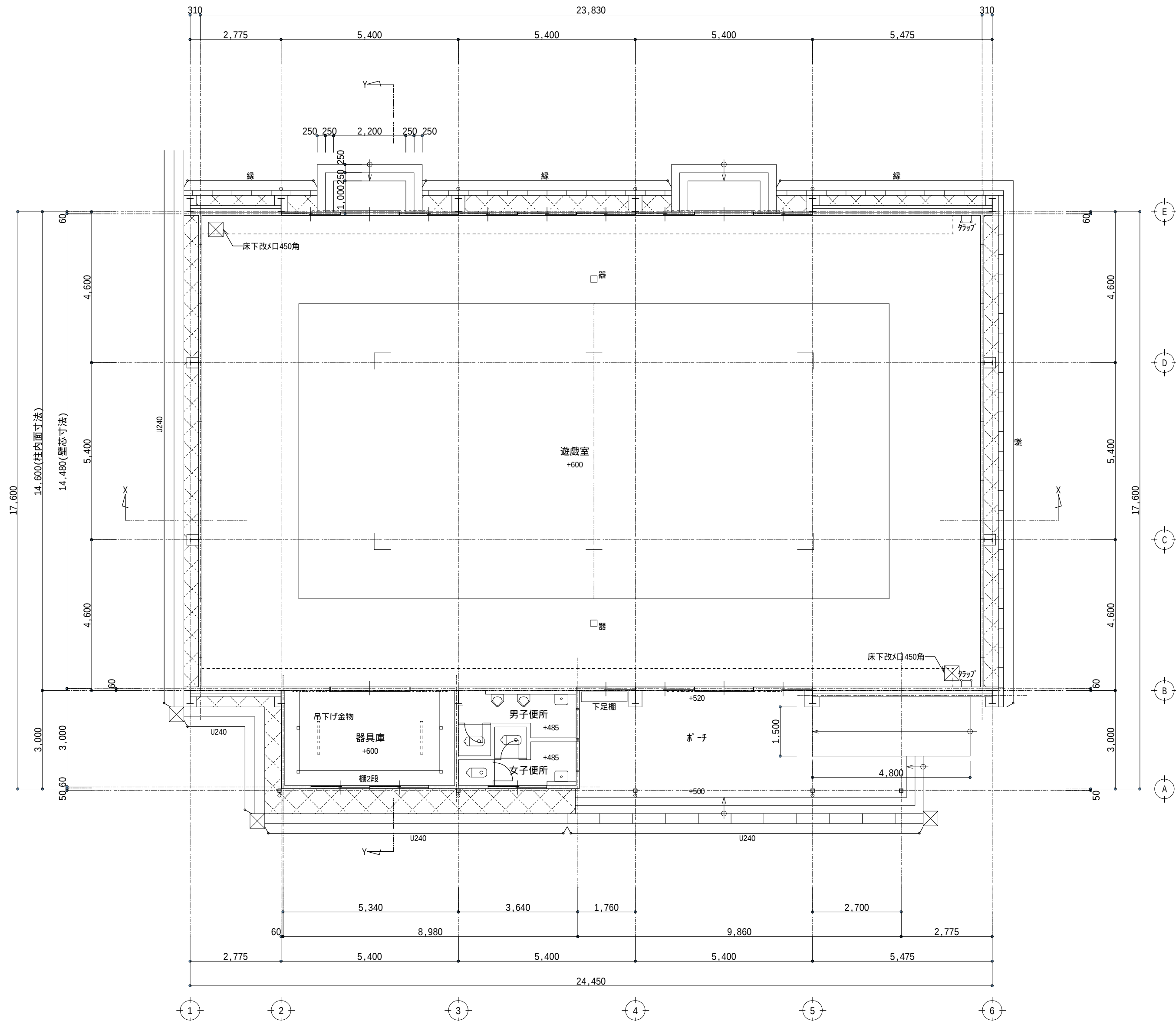
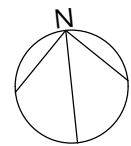
縮尺

A2→1/-

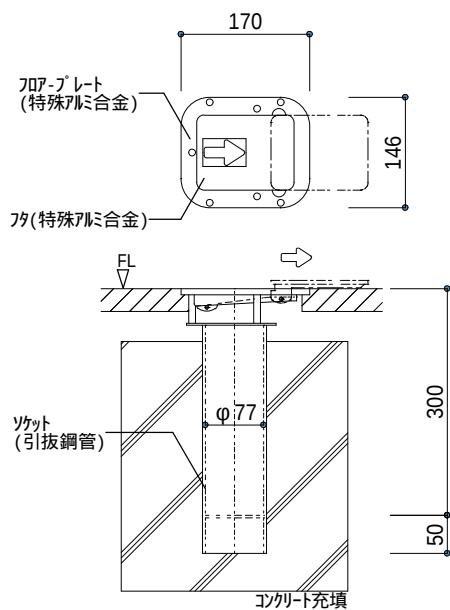
図面番号

A-002





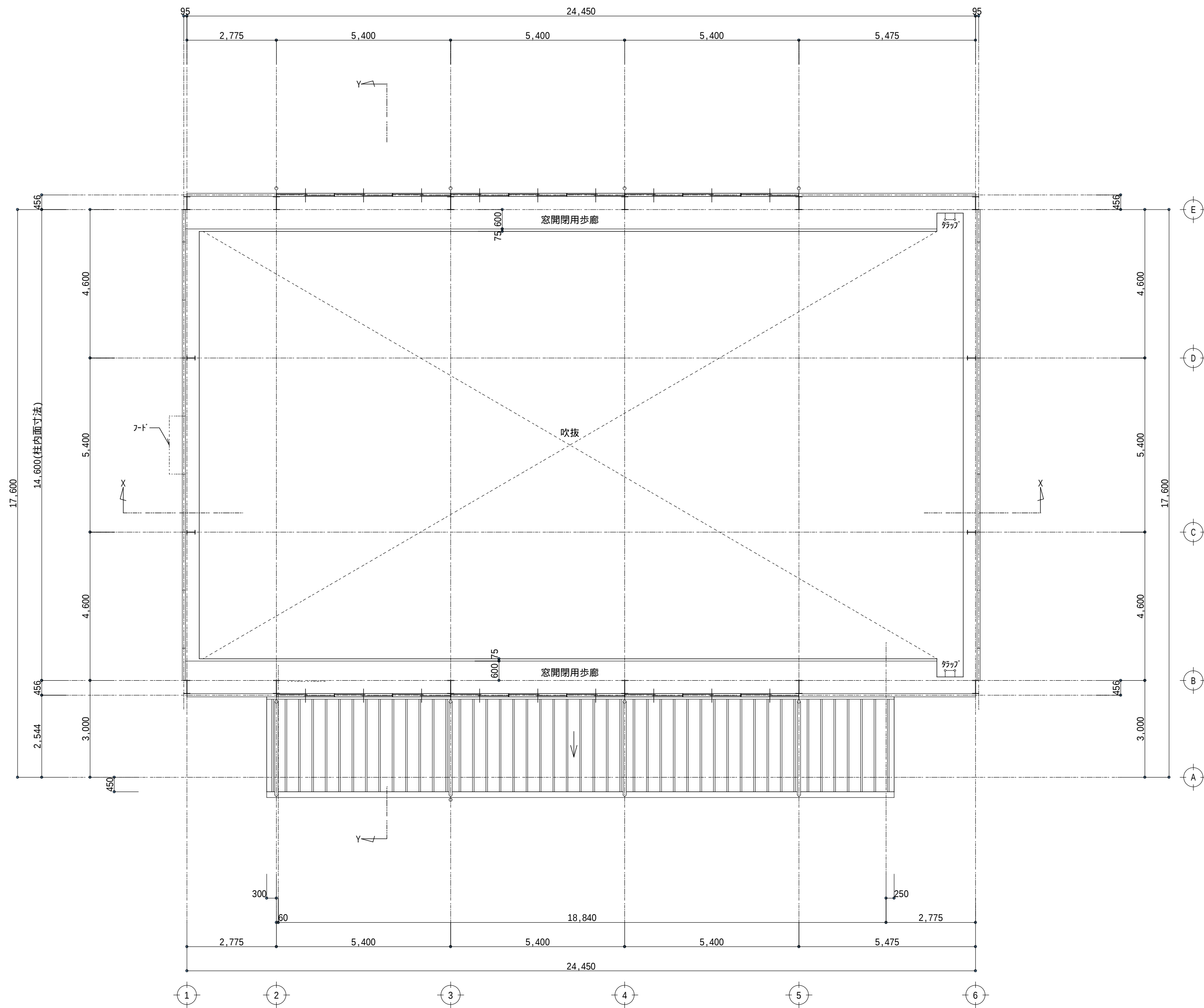
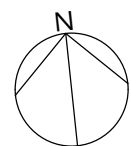
1階平面図 1:100



バレーボール用支柱ソケット詳細図 1:10

凡 例		
縁	縁石を示す(断面詳細図参照)	[撤去]
U***	既製U字側溝を示す (<i>(U)</i> :ダレータグ 蓋付き)	[存置]
	砂利敷き t60範囲を示す	[撤去]
	バレーボール用支柱ソケットを示す	
+500	CLからの床レベルを示す	

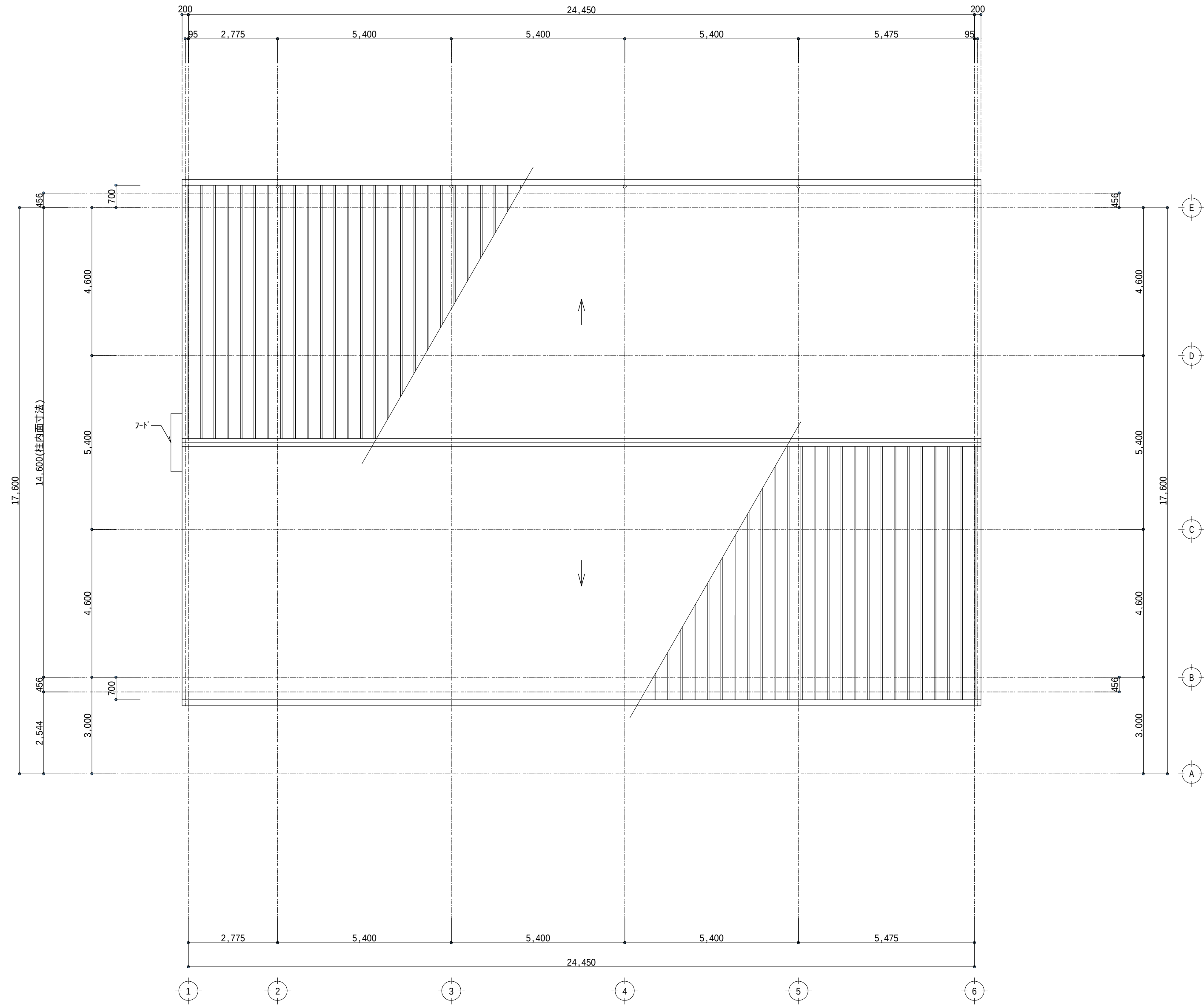
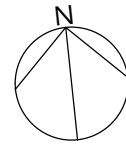
特記なき限り全て解体処分とする。



1階上部平面図 1:100

特記なき限り全て解体処分とする。

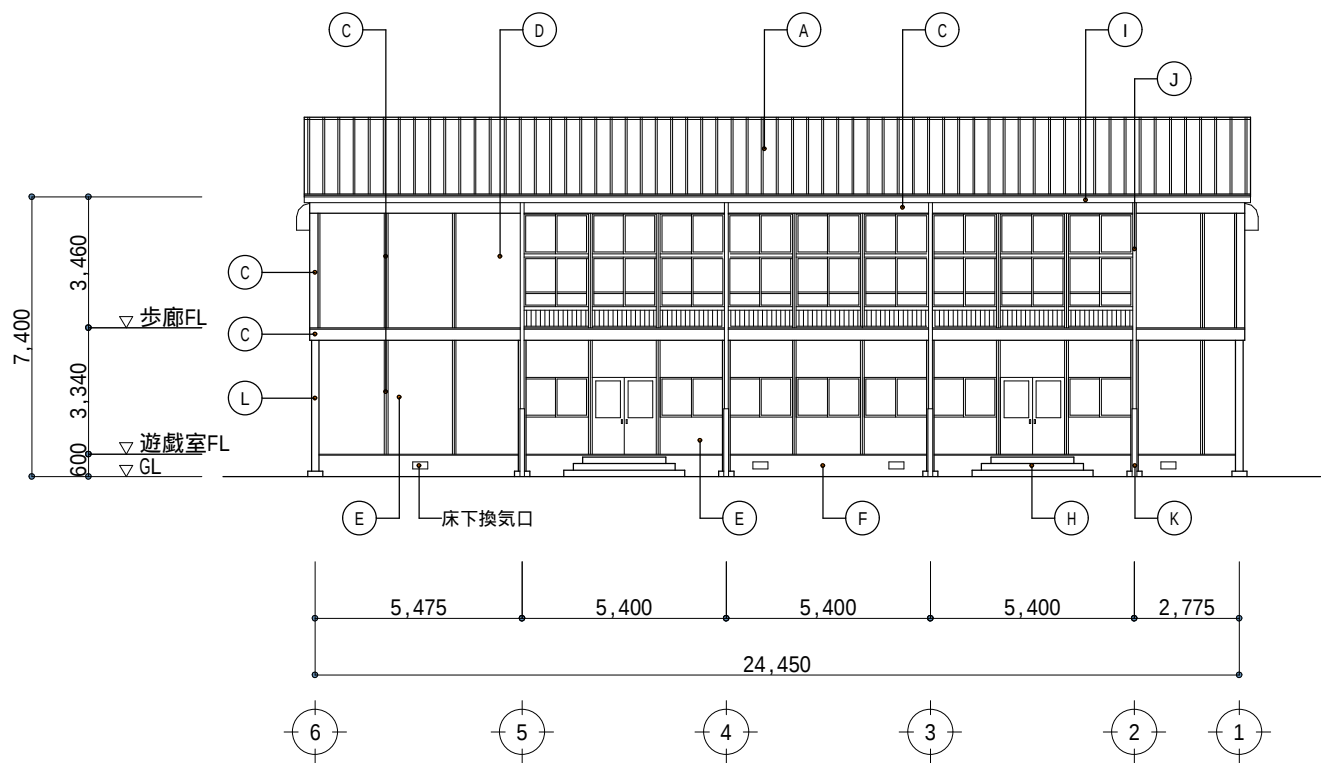
訂 正	令和 年 月 日		 株式会社 小笠原設計 OGASAHARA Architects & Engineers 1級建築士事務所大阪府知事登録(シ)第599号 管理建築士 硯 正人 1級建築士登録番号第238350号	設計年月 令和 7年 10月	工事名称 善法青少年センター遊戯棟ほか解体工事	図面番号 A-007
				図面名称 遊戯棟 1階上部平面図	縮尺 A2 → 1:100	
				・ ・ ・		



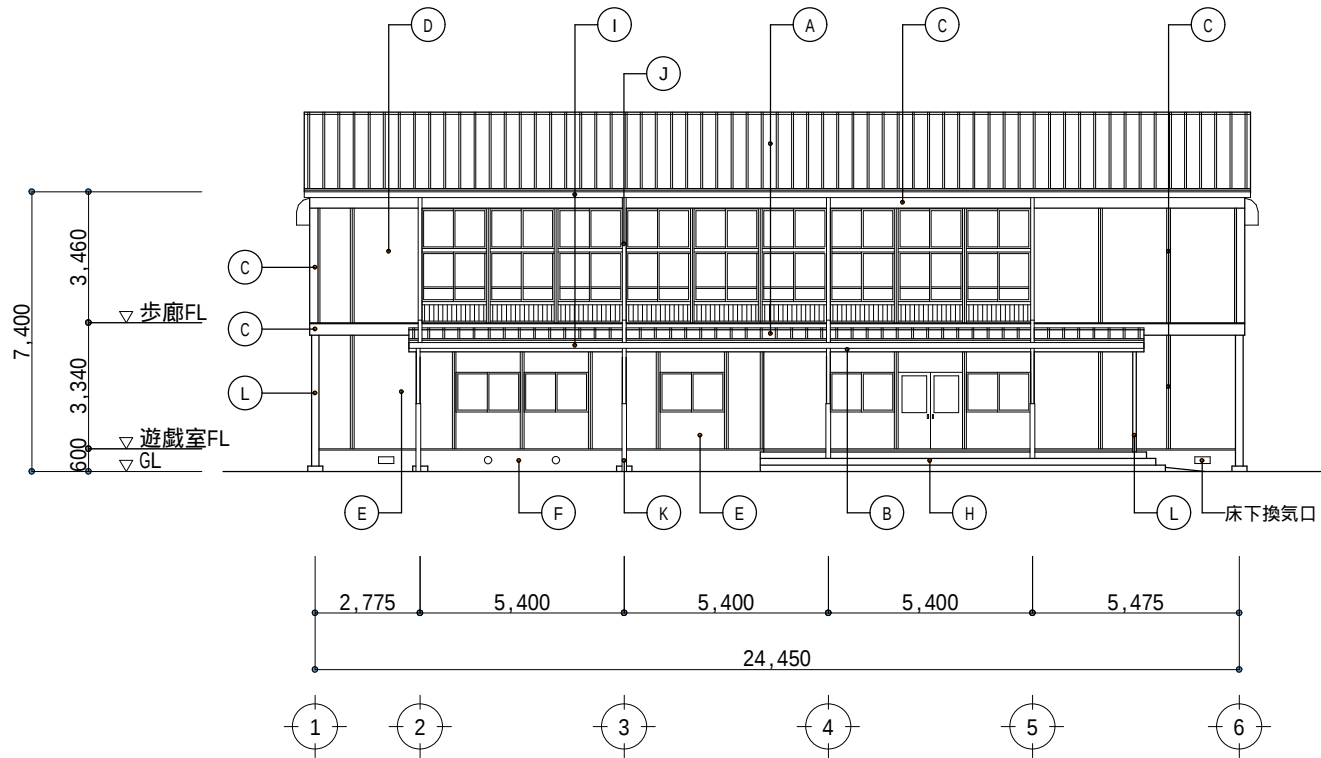
屋根伏図 1:100

特記なき限り全て解体処分とする。

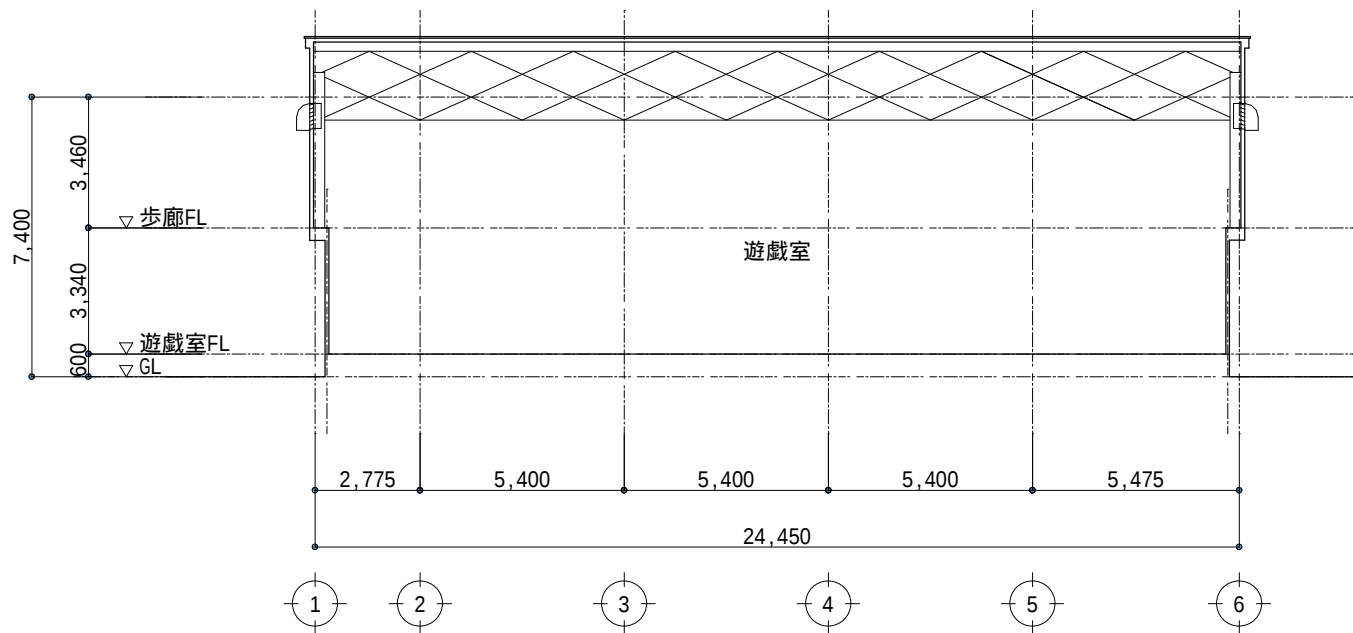
訂正	令和 年 月 日		 株式会社 小笠原設計 OGASAHARA Architects & Engineers 1級建築士事務所大阪府知事登録(レ)第599号 管理建築士 硯 正人 1級建築士登録番号第238350号	設計年月	令和 7年 10月	工事名称	善法青少年センター遊戯棟ほか解体工事	図面番号	A-008
						図面名称	遊戯棟 屋根伏図		
						縮尺	A2→1:100		



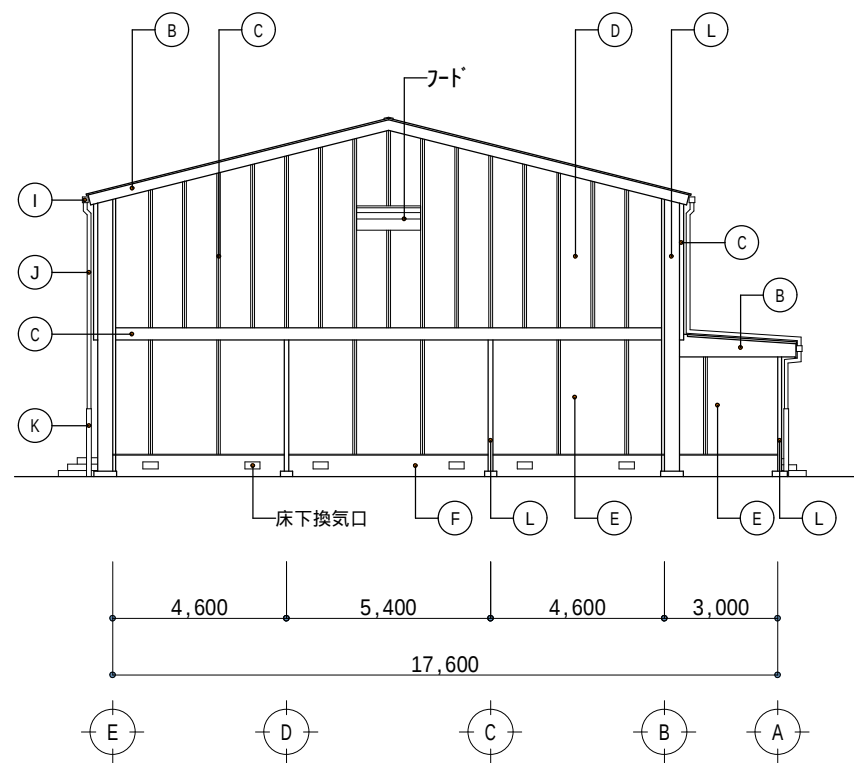
北立面図 1:200



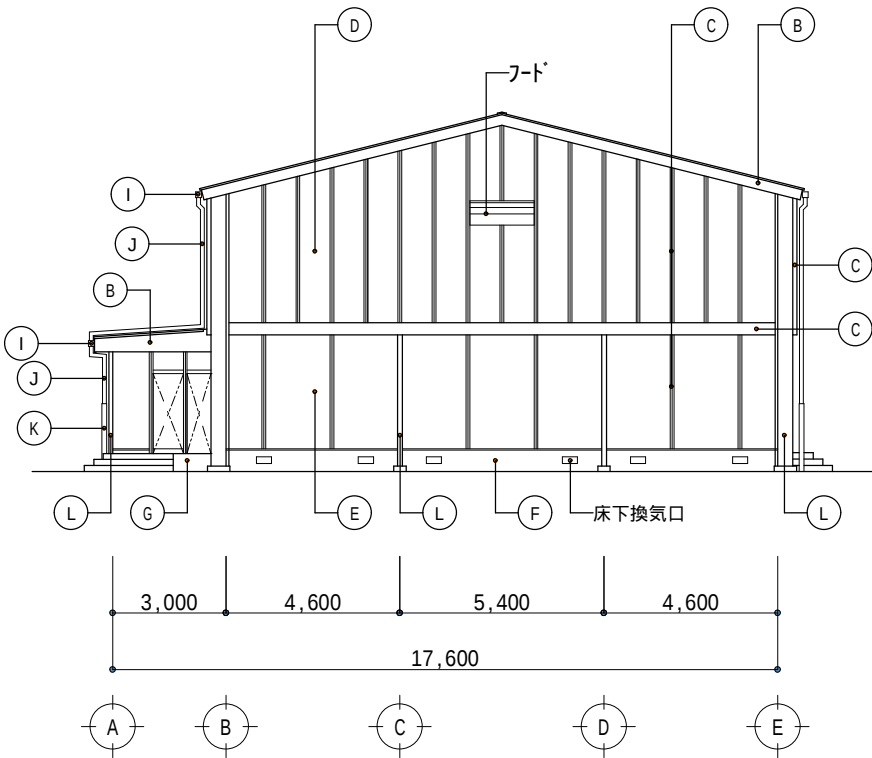
南立面図 1:200



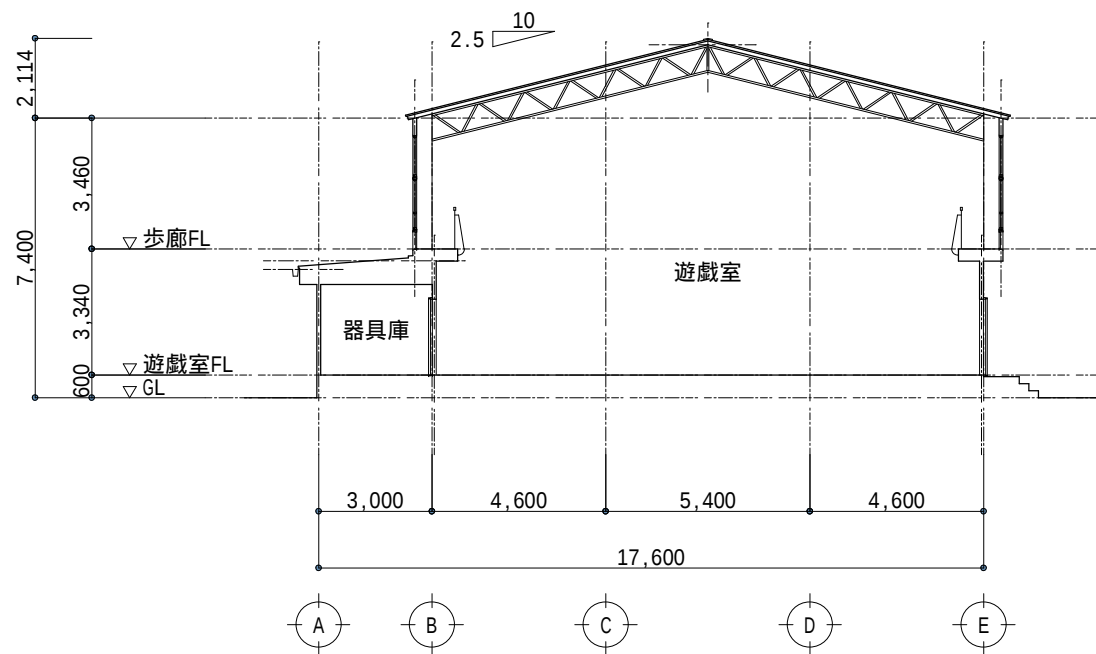
X-X断面図 1:200



西立面図 1:200



東立面図 1:200

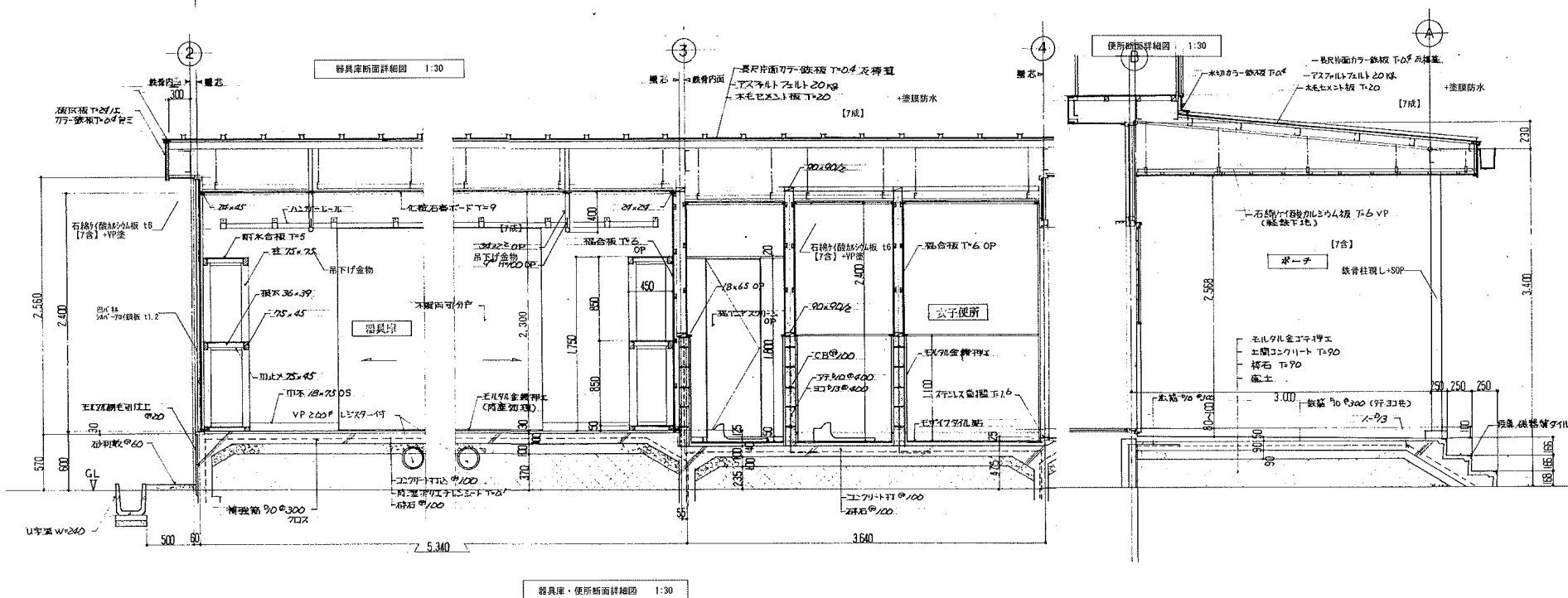
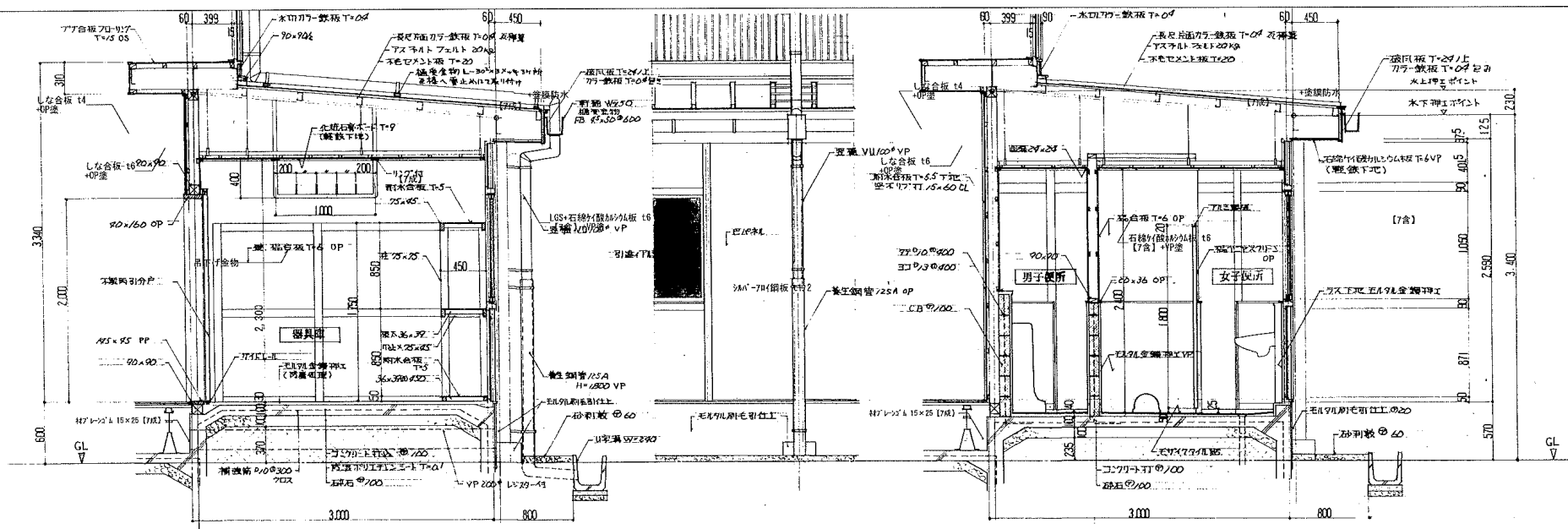


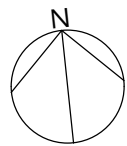
Y-Y断面図 1:200

外部仕上		
記号	部位	仕上
A	屋根	長尺片面切-銅板瓦棒葺 t0.4+塗膜防水
B	軒先・ケバ	切-銅板 t0.4
C	外壁(棒)	巴ハ [®] 棒 シハ [®] -704鋼板 t1.6及びt2.0
D	外壁(上部)	巴ハ [®] 棒 キ-スト鋼板 t0.6
E	外壁(下部)	巴ハ [®] 棒 シハ [®] -704鋼板 t1.2
F	幅木	Mo刷毛引き
G	窓-フ	Mo塗
H	階段	Mo塗
I	軒樋	塩ビ [®] 製 角樋W150
J	壁樋	VU100 φ+VP塗
K	養生管	鋼管125A+OP塗 H1800
L	鉄骨柱型	SOP塗

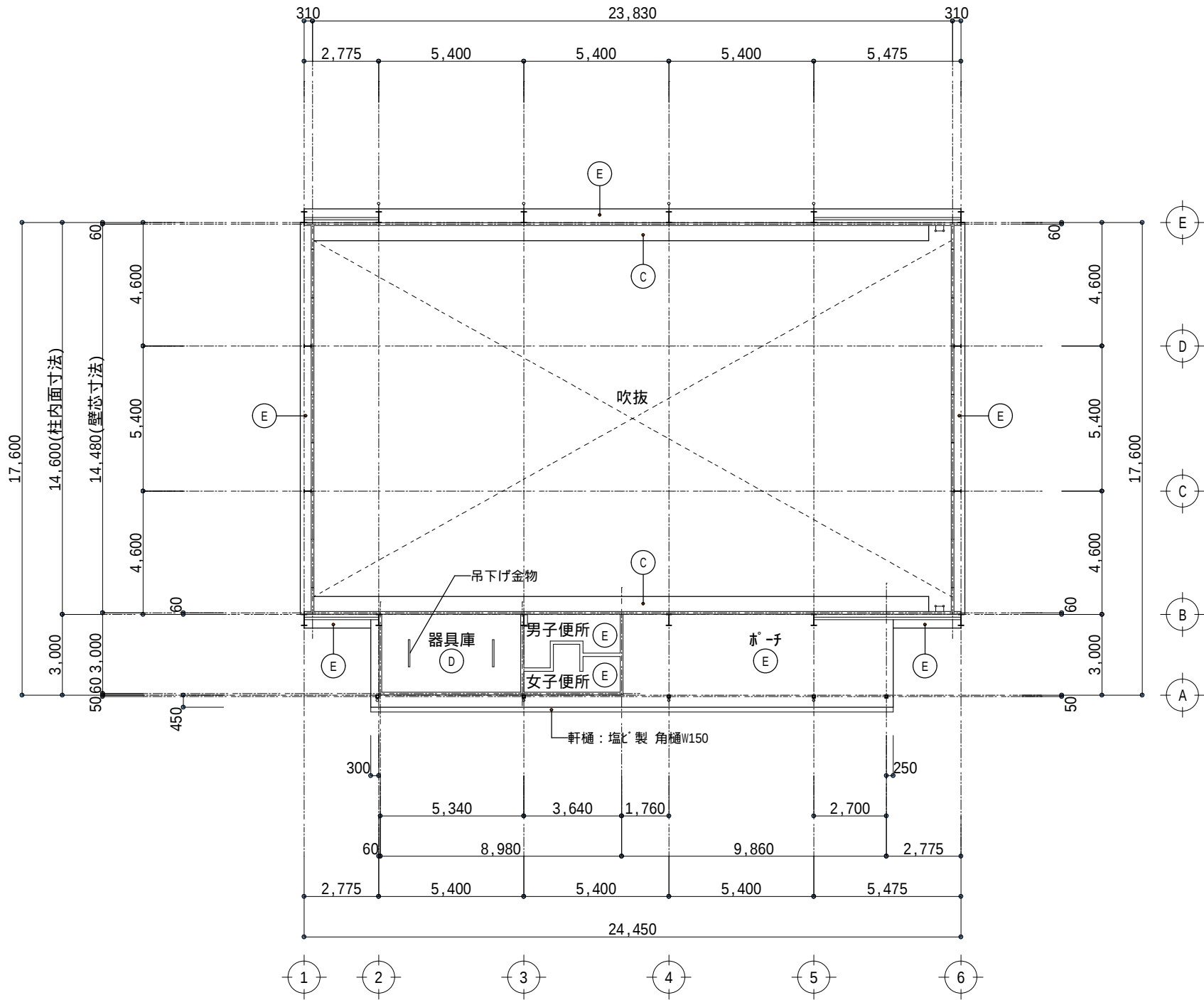
特記なき限り全て解体処分とする。

訂正	令和 年 月 日		 株式会社 小笠原設計 OGASAHARA Architects & Engineers 1級建築士事務所大阪府知事登録(シ)第599号 管理建築士 硯 正人 1級建築士登録番号第238350号	設計年月 令和 7年 10月	工事名称 善法青少年センター遊戯棟ほか解体工事	図面番号 A-009
				図面名称 遊戯棟 立面図・断面図	縮尺 A2→1:200	

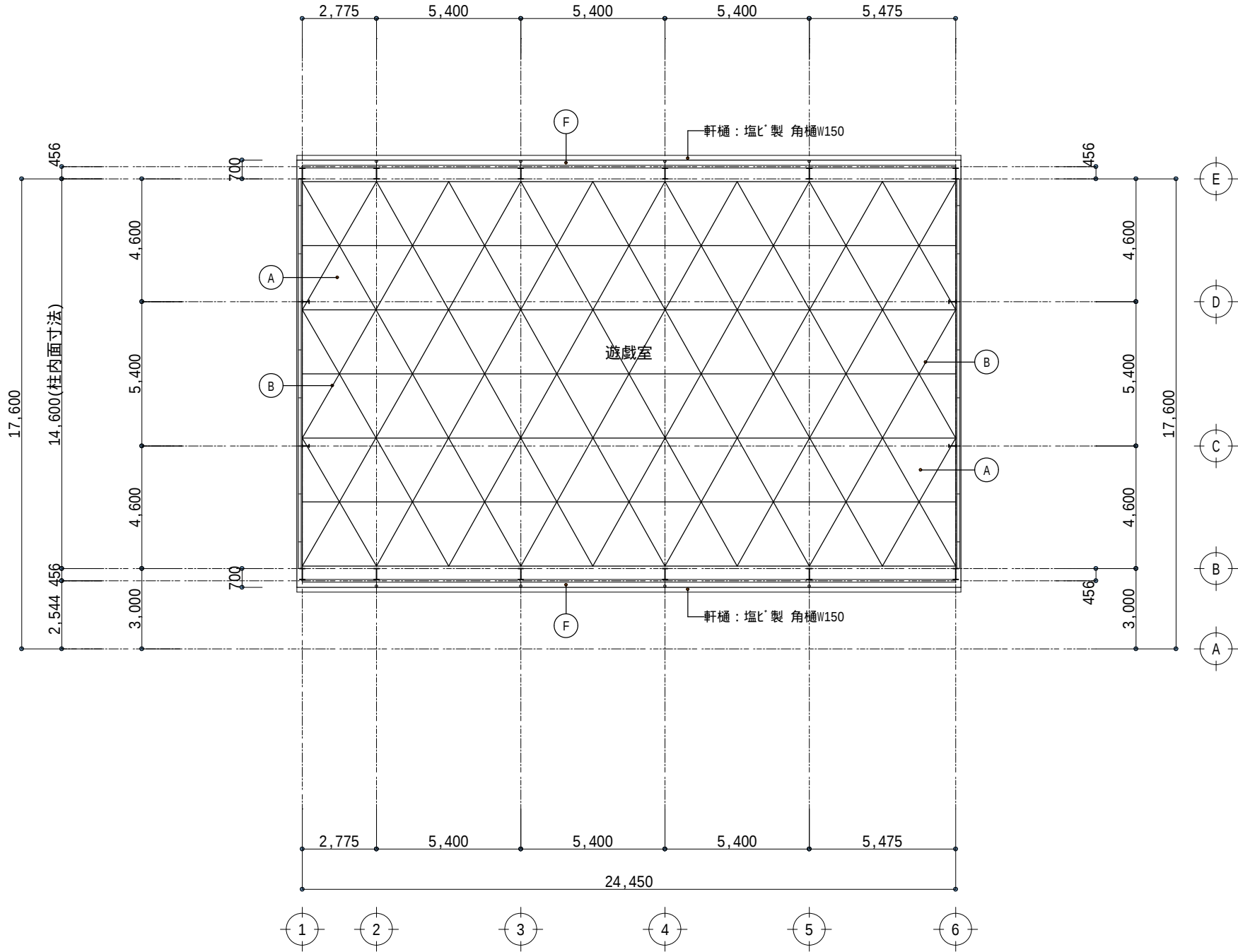




天井仕上	
記号	仕上
(A)	木毛セメント板 t20+EP吹付【7成】
(B)	鉄骨現し+SOP塗
(C)	珪合板 t6+OP塗
(D)	GB-D t9.0【7成】
(E)	石綿ケイ酸加シム板 t6【7含】+VP塗
(F)	シリカ-70Y鋼板 t1.2

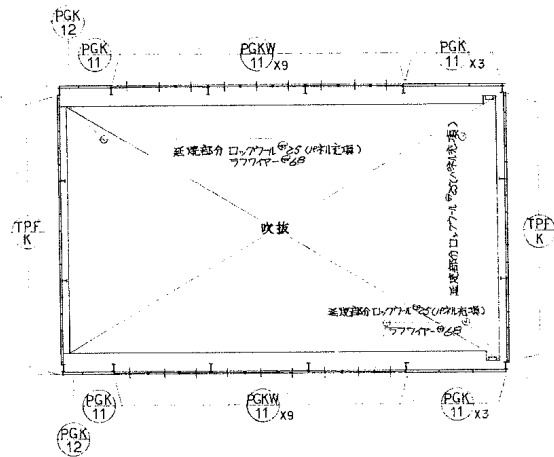


1階天井伏図 1:200

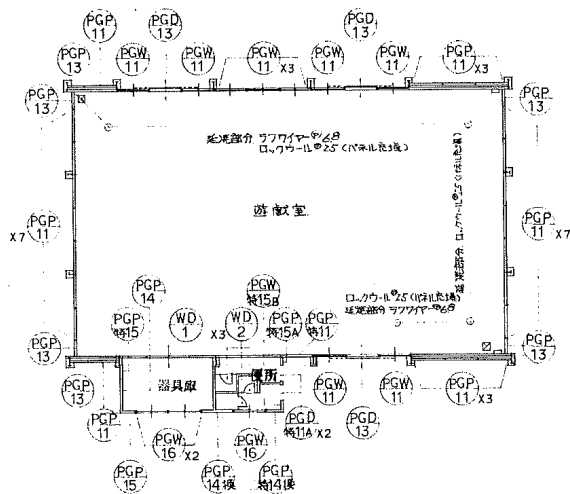


2階天井伏図 1:200

特記なき限り全て解体処分とする。



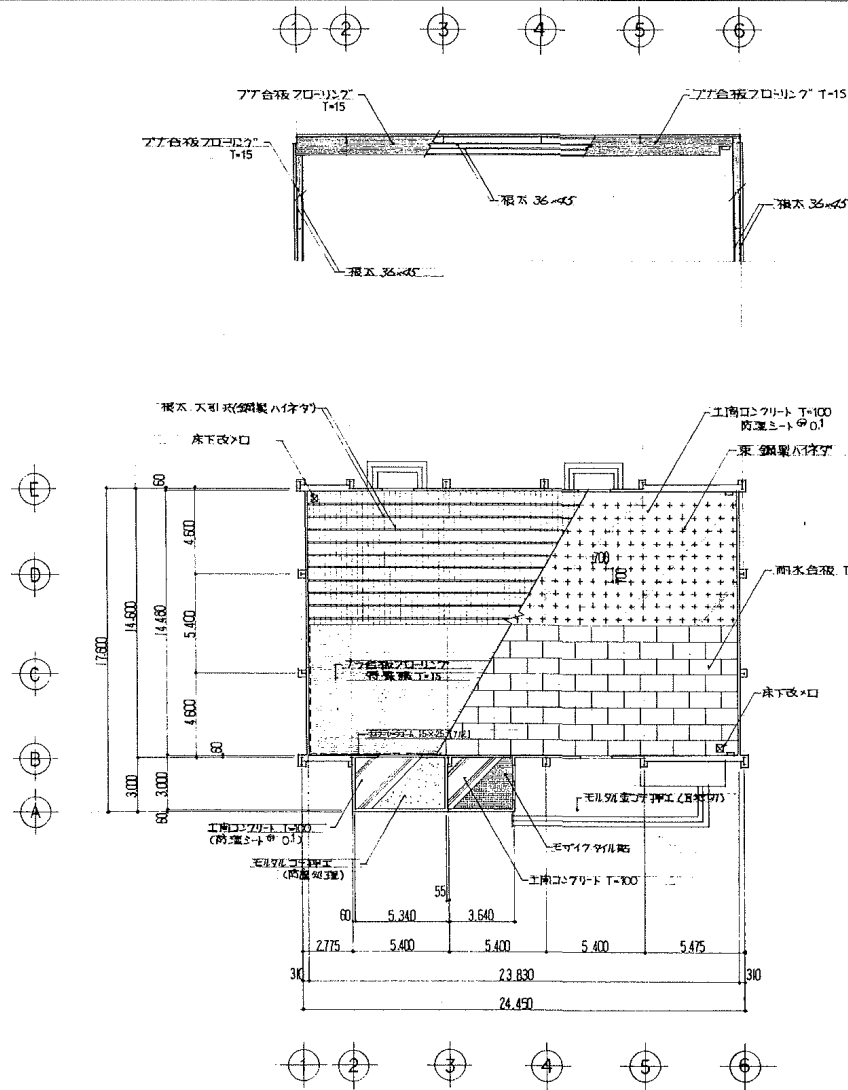
2階建具配置図 1:200



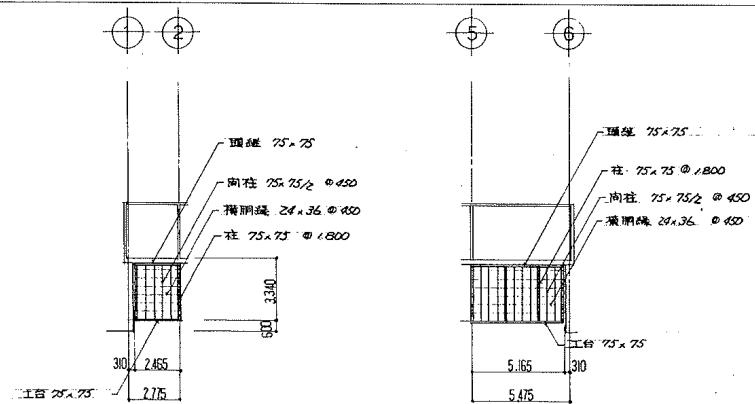
1階建具配置図 1:200

記号・名称	PGP 11 下部壁パネル	PGP 11 下部壁パネル	PGP 13 下部壁パネル	PGP 14 下部壁パネル
場所・数量	リブ付 14 リブなし 8	リブ付 1 リブなし 1	リブ付 4 リブなし 2	リブ付 1 リブなし 1
見込	90	90	90	90
材質・塗装	スチール、外装、内部塗装、約1200mm幅の板状	同左	同左	同左
硝子				
付属金物				
形状				
記号・名称	PGP 14 下屋用換気器付壁パネル	PGP 14 下屋用換気器付壁パネル	PGP 15 下家壁パネル	PGP 15 下家壁パネル
場所・数量	リブ付 90 リブなし 1	リブ付 90 リブなし 1	リブ付 90 リブなし 1	リブ付 90 リブなし 1
見込	90	90	90	90
材質・塗装	スチール、外装、内部塗装、約1200mm幅の板状	同左	同左	同左
硝子				
付属金物				
形状				
記号・名称	PGP 15 下家壁パネル	PGP 15 下家壁パネル		
場所・数量	リブ付 90 リブなし 1	リブ付 90 リブなし 1		
見込	90	90		
材質・塗装	スチール、外装、内部塗装、約1200mm幅の板状	同左		
硝子				
付属金物				
形状				

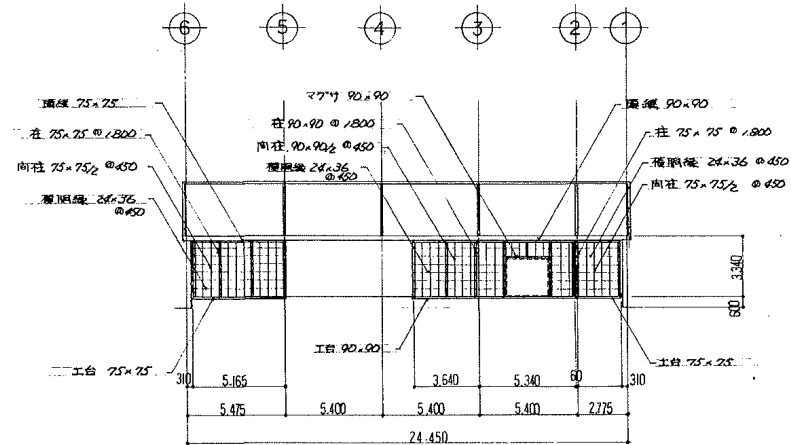
※特記なき限り全て解体処分とする。



床伏図
1:200



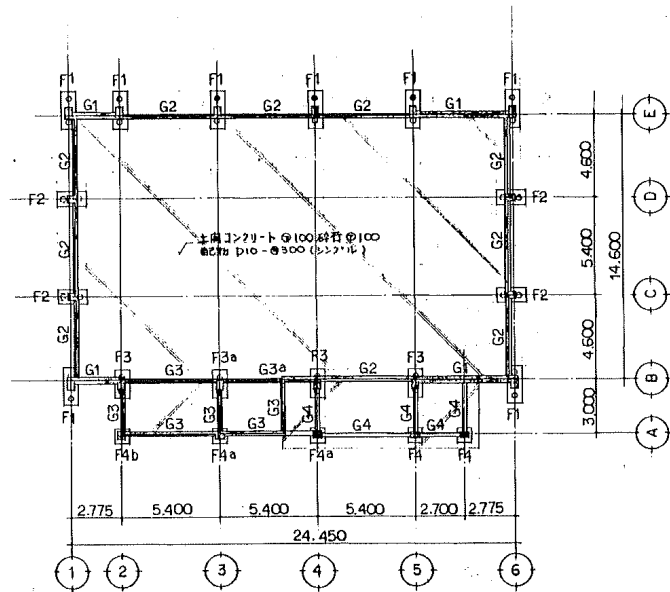
E通リ不軸図
1:200



B通リ不軸図
1:200

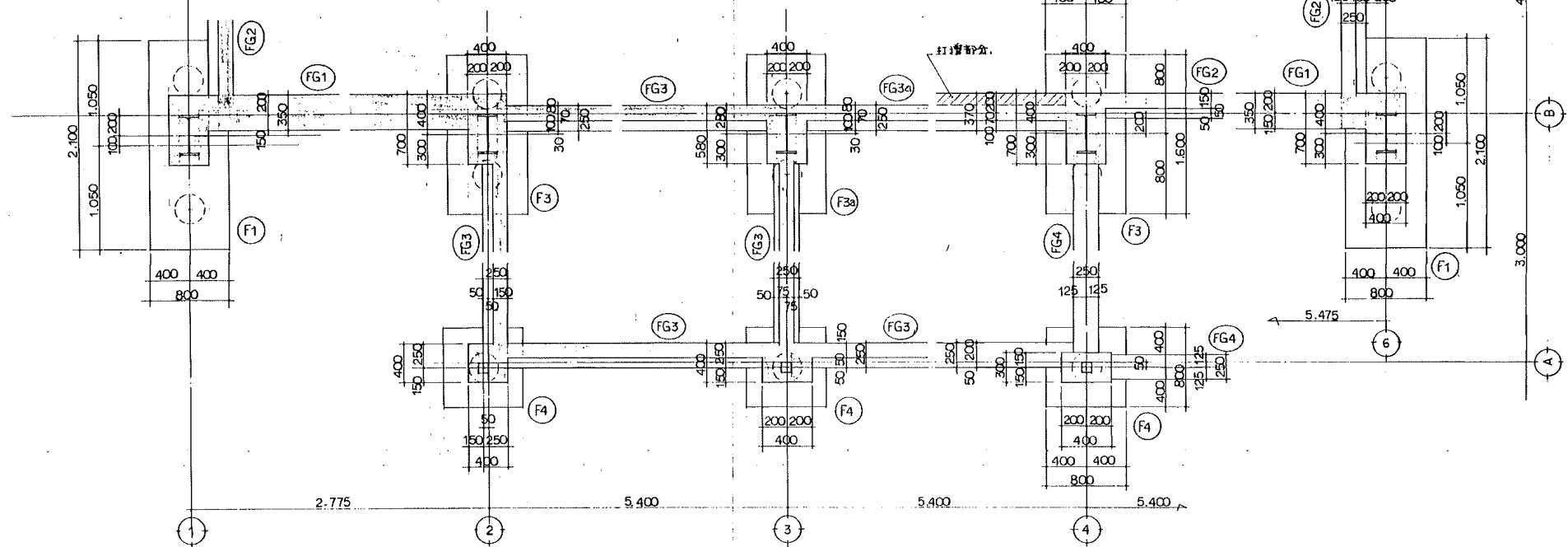
鋼製床組仕様 (ハヤグサAタイプ)			
部 位	床束間隔	大引間隔	根太間隔
体育室	@ 700	@ 700	@ 300

※特記なき限り全て解体処分とする。



基礎伏図 S-1/200

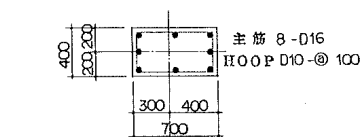
基礎芯関係図 S-1/30



※特記なき限り全て解体処分とする。

基礎詳細図 S=1/30

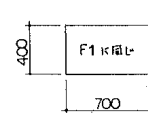
F1 基礎



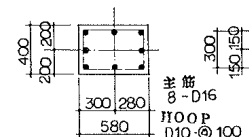
F2 基礎



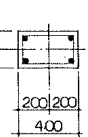
F3 基礎



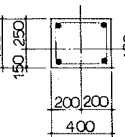
F3a 基礎



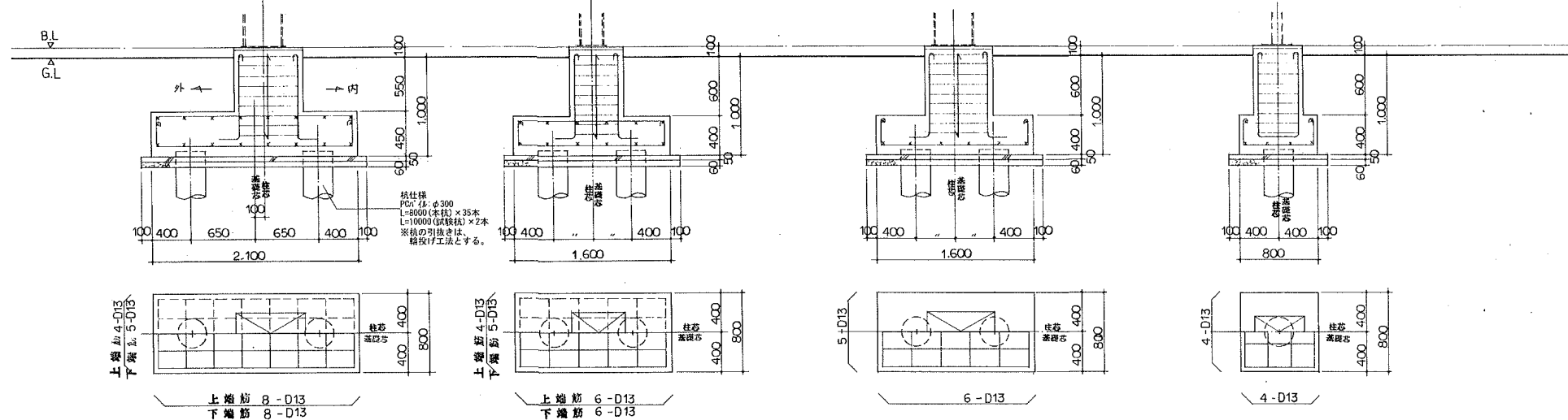
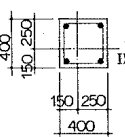
F4 基礎



F4a 基礎

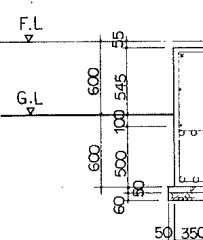


F4b 基礎

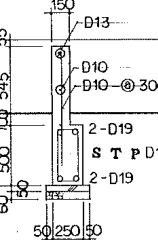


地中梁詳細図 S-1/30

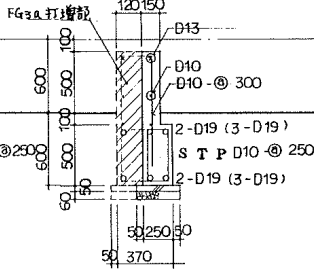
FG1



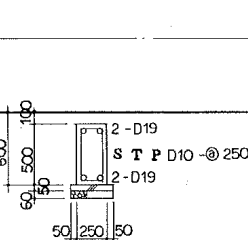
FG2



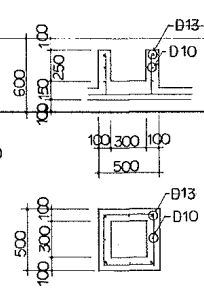
FG3 FG3a



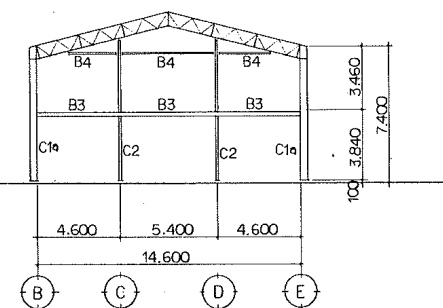
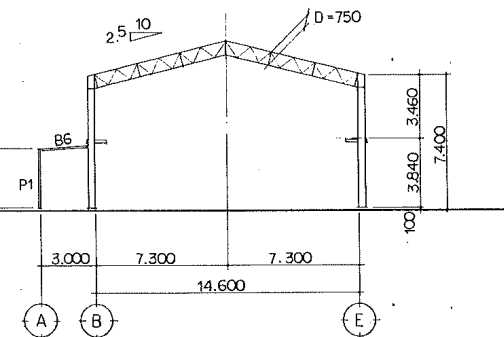
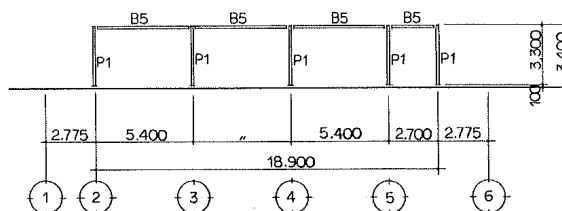
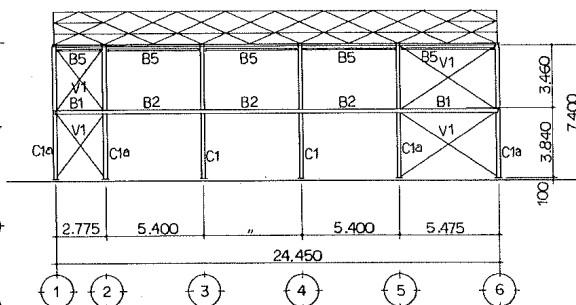
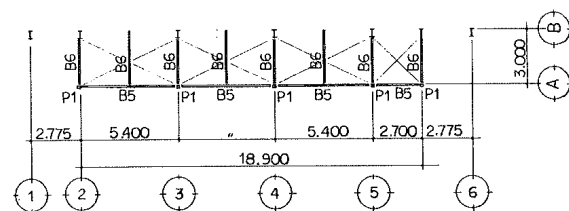
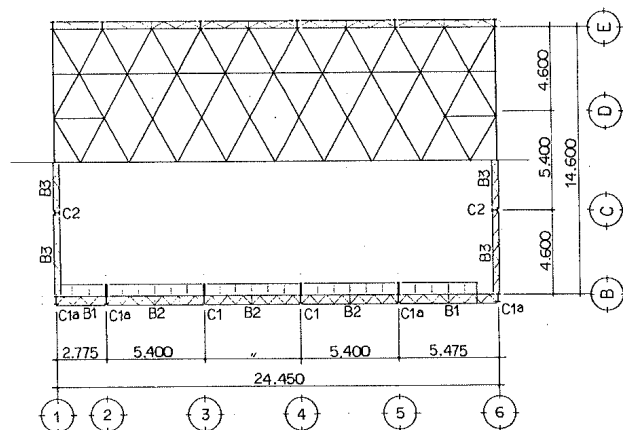
FG4



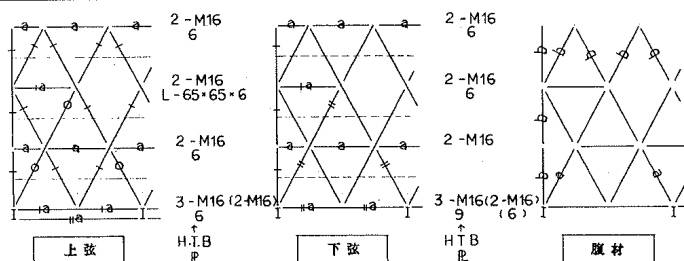
體育器具基礎



※特記なき限り全て解体処分とする。



サイズ伏図

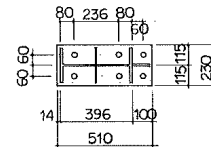
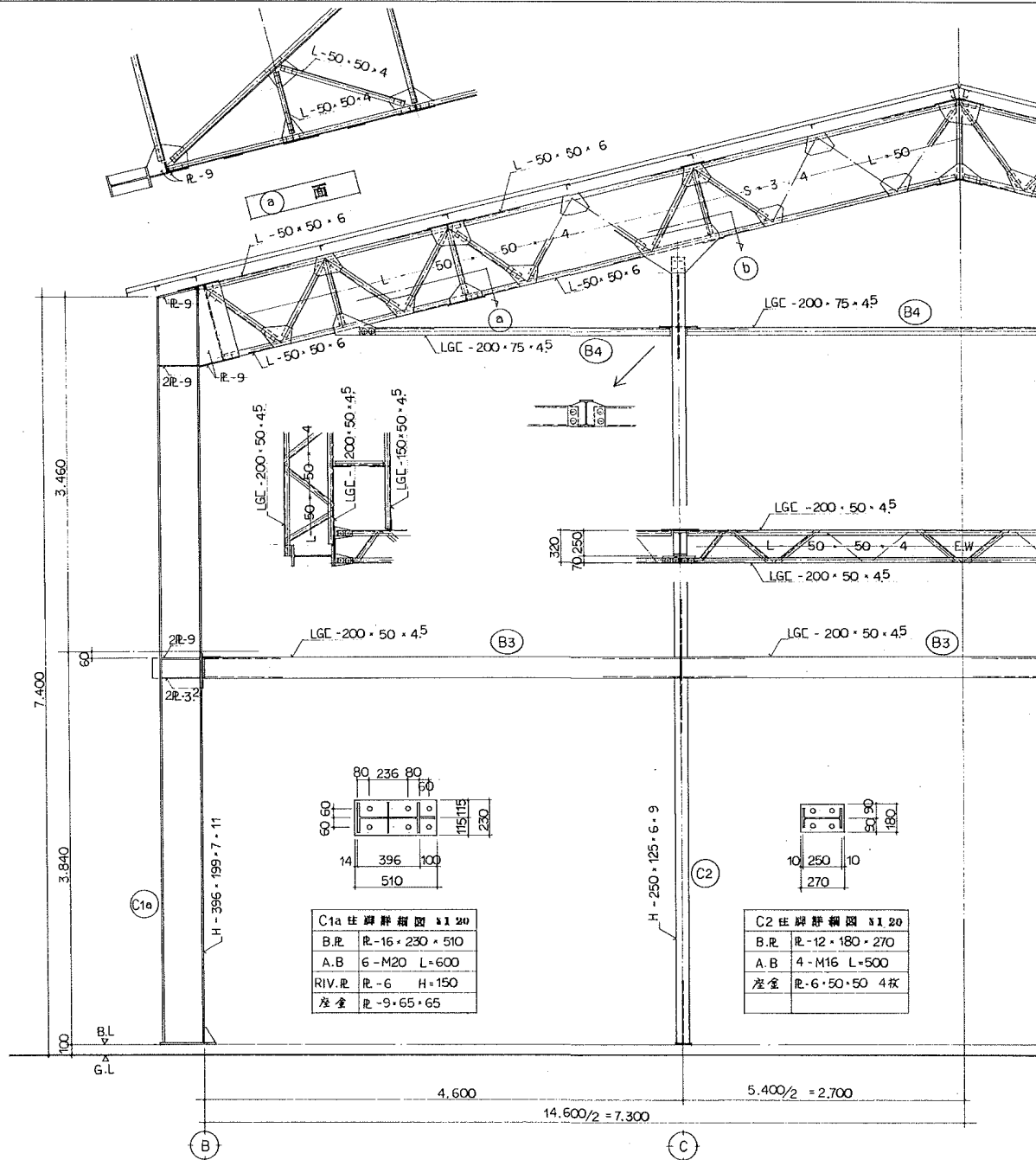


上 致 下 致 サイズ凡例					
記 号	サイズ	記 号	サイズ	H・T・B	鋼 板
—	L - 50 × 50 × 4	—a—	L - 50 × 50 × 4	2 - M16	6
— —	L - 50 × 50 × 6	—1a—	L - 50 × 50 × 6	2 - M16	6
—o—	L - 65 × 65 × 6	—11a—	L - 65 × 65 × 6	2 - M16	6
—○—	L - 75 × 75 × 6	—	L - 50 × 50 × 4	1 - 12 ^(注B)	
—		—	STKφ - 27.2 × 1.9	1 - 16 ^(注B)	

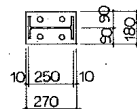
版 材 サイズ凡例			
型 号	サイ ズ	溶 接	鋼 板
—	L - 50 × 50 × 4	EW	
—a	L - 50 × 50 × 4	S = 3.4 L = 60	6
—b	L - 50 × 50 × 4	S = 3.4 L = 50	6

柱 梁 サイズ凡例									
記 号	位 置	サ イ ズ	H・T・B	鋼 板	記 号	位 置	サ イ ズ	H・T・B	鋼 板
C1	主 材	H-396・199・7・11			B1	主 材	LGE-200・50・4.5	2-M16	6
	柱 脚	AB 4-M20 R-16				腹 材	L-50・50・4	EW	
C1a	主 材	H-396・199・7・11			B2	主 材	LGE-200・50・4.5	2-16 ^φ (主材)	6
	柱 脚	AB 6-M20 R-16				腹 材	L-50・50・4	EW	
C2	主 材	H-250・125・6・9	2-M16	6	B3	主 材	LGE-200・50・4.5	2-16 ^φ (主材)	6
	柱 脚	AB 4-M16 R-12				腹 材	L-50・50・4	EW	
P1	主 材	□-100・100・3.2			B4		LGE-200・75・4.5	2-16 ^φ (主材)	6
	柱 脚	AB 2-M16 BR-9				B5		□-150・75・6.5	2-M16
						B6	□-100・50・5	2-M16	6
						V1	L-65・65・6	5-M16	6

※特記なき限り全て解体処分とする。

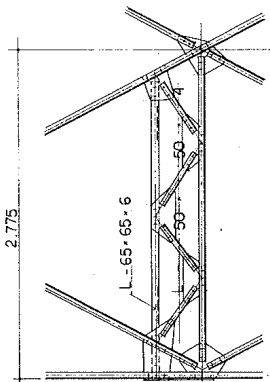
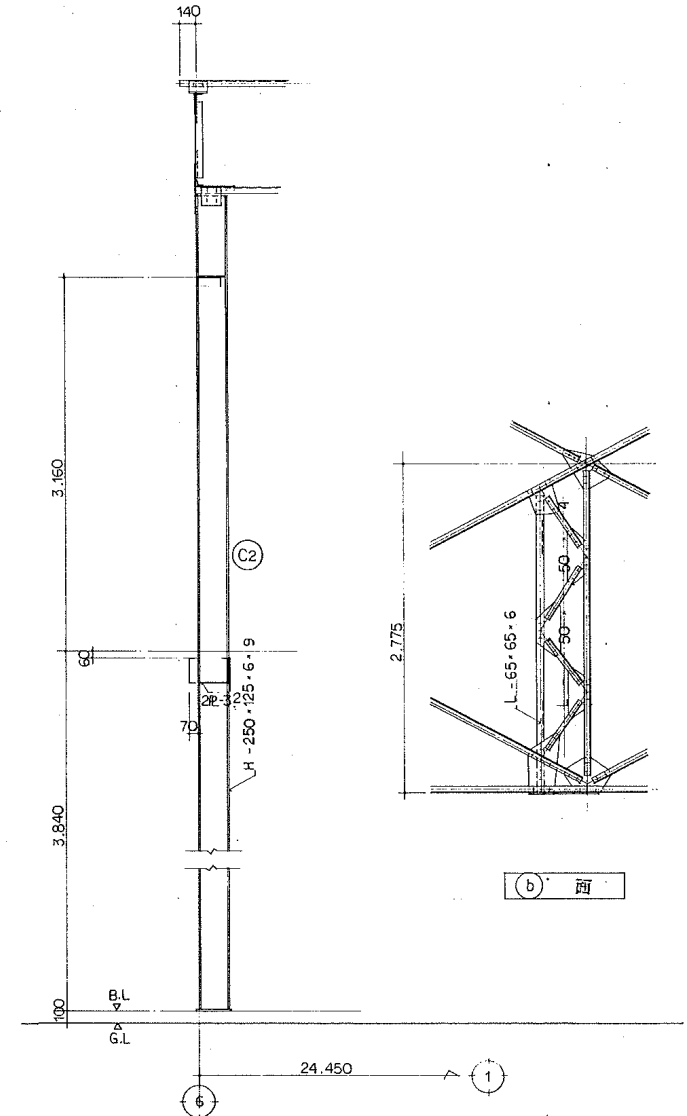


C1a 柱 詳細図 S120	
B.R.	R-16 × 230 × 510
A.B	6-M20 L=600
RIV.R	R-6 H=150
座金	R-9 × 65 × 65



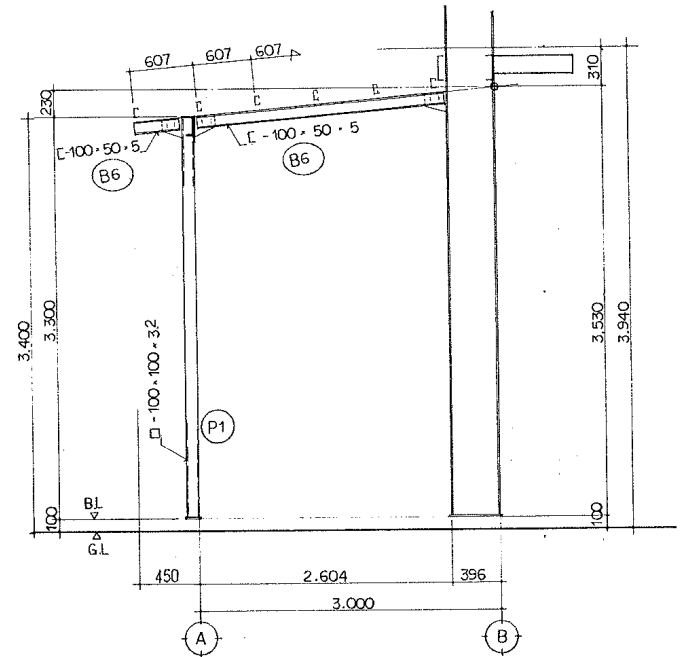
C2 柱 詳細図 S120	
B.R.	R-12 × 180 × 270
A.B	4-M16 L=500
座金	R-6 × 50 × 50 4枚

〔6〕 通り詳細図 S130

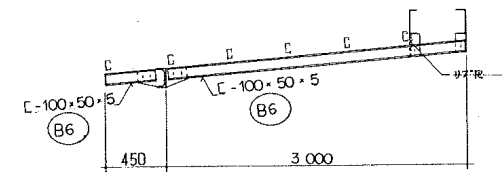


〔b〕 面

※特記なき限り全て解体処分とする。



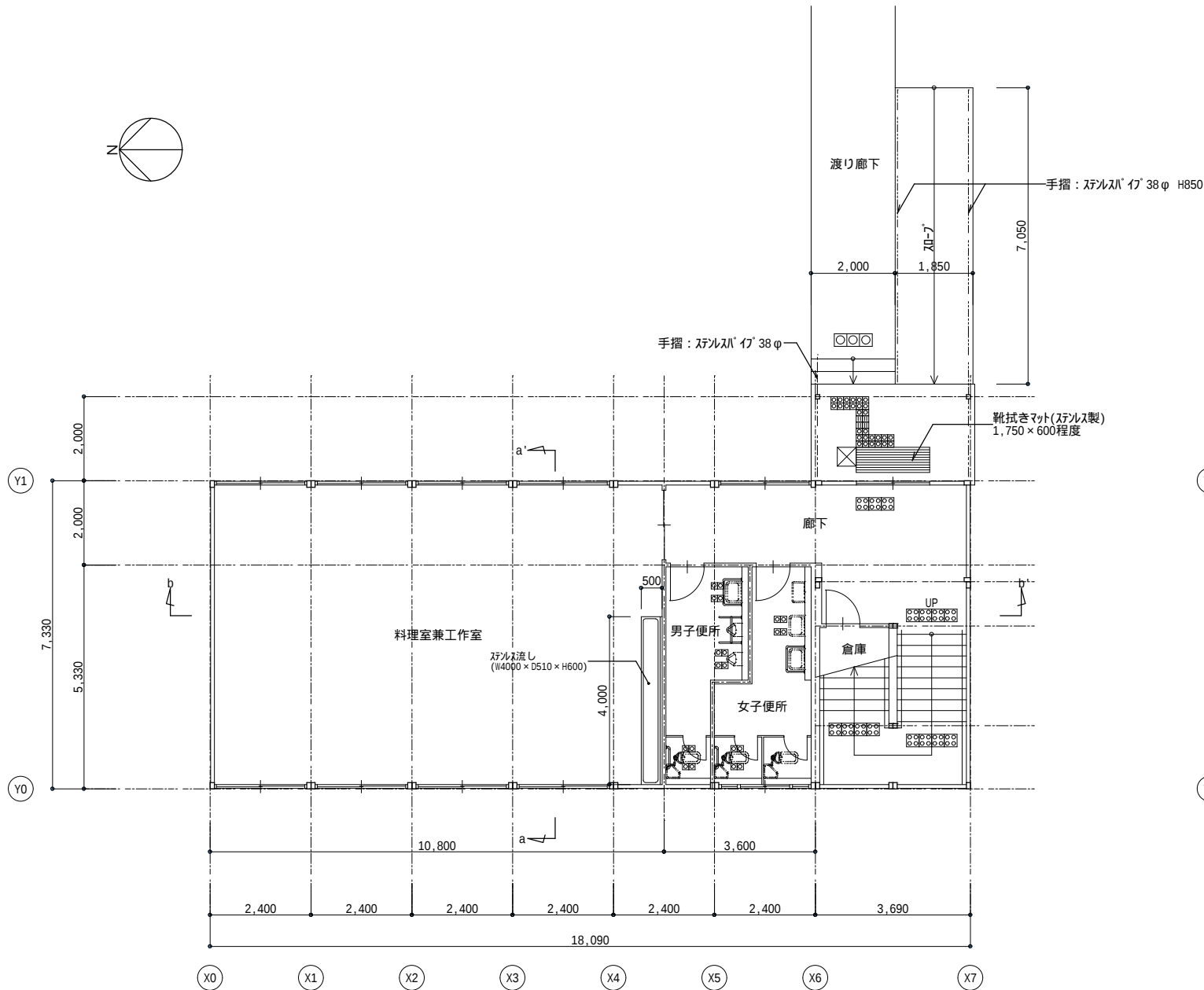
面 a



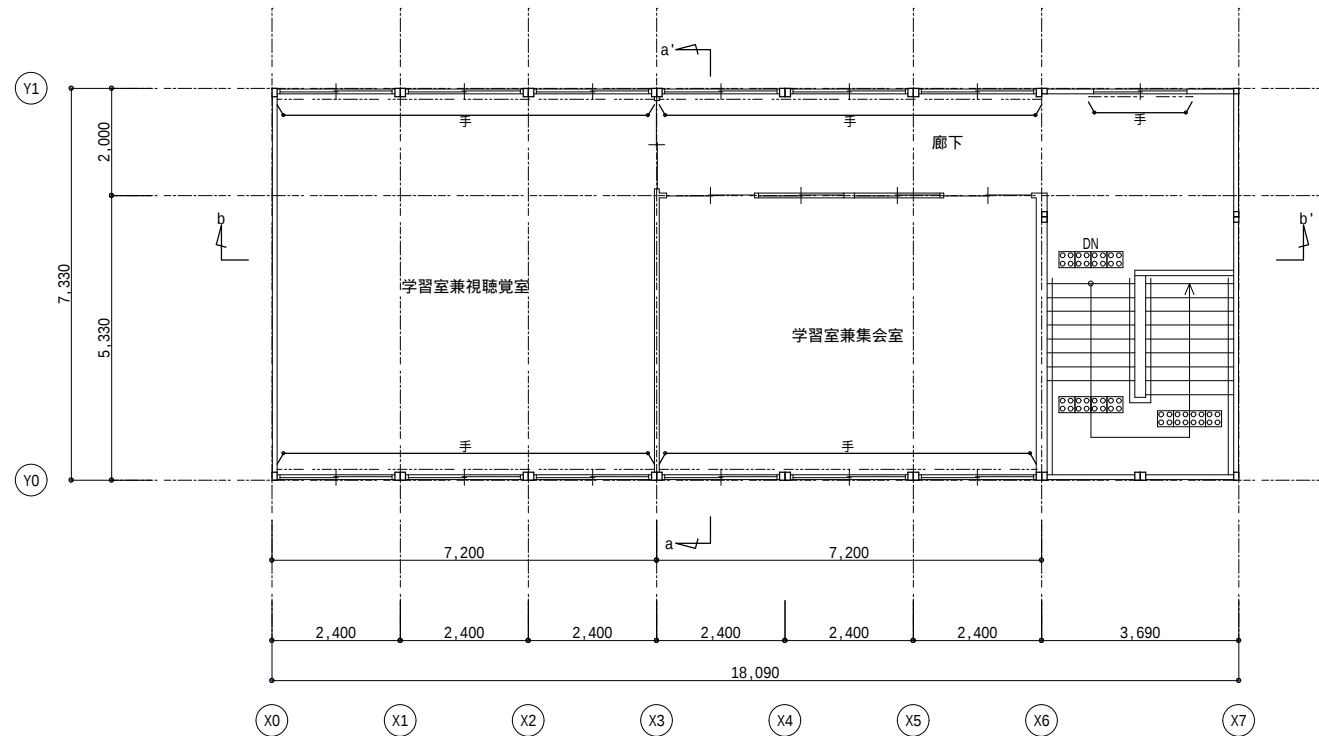
(b) 100

(A) 通り詳細図 S-1/30

外部仕上表													凡例			
部位		仕上			部位		仕上			部位		仕上			下地等略表示記号	
屋根	平場	折板：ｶｰﾎﾞｰﾄﾞ t0.5 山高88、裏面ｶﾞﾗｽ繊維入り断熱材張 t5			樋	軒樋	塩ビ製 130角前高						RC S Co CB Mo LGS W AS ST SUS AL 既	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 鉄骨 ｺﾝｸﾘｰﾄ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ ﾍﾞｰﾄﾞ外塗 軽量鉄骨 木 ｱｽﾌﾙﾄ ｽﾃｰﾙ ｽﾃﾝﾚｽ ｱﾙﾐﾆｳﾑ 既設		
	軒先	ｶｰﾎﾞｰﾄﾞ t0.8 H=750				竪樋	VP75φ									
柱・梁		軽量鉄骨+ﾒｰｶｰ標準塗装			建具	戸	ｱﾙﾐ製									
外壁		硬質木片ﾍﾞｰﾄﾞ t12+ｱｸﾘﾙｼｰｽ仕上材吹付				窓	ｱﾙﾐ製									
幅木		Co打放し			ｽﾎﾟｰﾌﾞ・階段	床・側面	Moﾎﾟｯｾ、段鼻ﾀｲﾙ									
ｶﾞｰﾃﾞﾝ	屋根	折板：ｶｰﾎﾞｰﾄﾞ t0.5 山高88				手摺	ｽﾃﾝﾚｽﾊﾞｲﾌﾞ 38φ									
	軒先	ｶｰﾎﾞｰﾄﾞ t0.5 H=350														
	軒裏	ｸｲｯﾌﾟ板 t6+EP塗														
	床	Moﾎﾟｯｾ、靴拭きﾏｯﾁ(ｽﾃﾝﾚｽ製)1,760×600														
手摺		ｽﾃﾝﾚｽﾊﾞｲﾌﾞ 38φ											塗装等略表示記号			
													SOP	合成樹脂調合ﾍﾞｰﾄﾞ外塗		
													CL	ｸﾘﾔｯｶｰ塗		
													NAD	ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗		
													DP	耐候性塗料塗		
													EP-G	つや有合成樹脂ｴﾎﾟｷｼﾍﾞｰﾄﾞ外塗		
													EP	合成樹脂ｴﾎﾟｷｼﾍﾞｰﾄﾞ内塗		
													EP-T	合成樹脂ｴﾎﾟｷｼｵﾝ模様塗料塗		
													UC	ｳﾚﾀﾝ樹脂ｳｰｽ塗		
													OS	ｵｲﾙﾌﾞﾗﾝﾄﾞ塗		
													WP	木材保護塗料塗		
													OSV	ｵｲﾙﾌﾞﾗｲﾝｸﾞｽ塗		
													VE	塩化ビニル樹脂系塗料塗		
													FP	ﾌｫﾙｴｰｸ系ｴﾎﾟｷｼﾍﾞｰﾄﾞ		
													床材略表示記号			
													VT	ビニル床ﾀｲﾙ		
													VS	ビニル床シート		
													TC	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ		
													NY	合成樹脂塗床(耐熱水性硬質ｳﾚﾀﾝ樹脂系)		
													幅木略表示記号			
													VH	ビニル幅木		
													WH	木製幅木		
													MoH	ﾍﾞｰﾄﾞ幅木		
													天井見切縁			
													V	塩化ビニル製廻縁		
													V透	塩化ビニル製(目透し)廻縁		
													W	木製廻縁		
													AL	ｱﾙﾐ製廻縁		
													AL透	ｱﾙﾐ製(目透し)廻縁		
													仕上・工法等略表示記号			
													GB-R	せっこうﾍﾞｰﾄﾞ		
													GB-S	ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾍﾞｰﾄﾞ		
													GB-F	強化せっこうﾍﾞｰﾄﾞ		
													GB-D	化粧せっこうﾍﾞｰﾄﾞ [ﾄﾅﾘ-ﾅｼ]		
													GB-D[W]	化粧せっこうﾍﾞｰﾄﾞ [木調]		
													GB-NC	不燃積層せっこうﾍﾞｰﾄﾞ [模様なし]		
													GB-NC[T]	不燃積層せっこうﾍﾞｰﾄﾞ [ﾄﾅﾘ-ﾅｼ]		
													GB-P	吸音用あなあきせっこうﾍﾞｰﾄﾞ		
													GB-PS	有孔ｽｸﾞ せっこうﾍﾞｰﾄﾞ (裏面ｶﾞﾗｽ不燃布張)		
													F	ﾌﾙﾎﾟｰﾄﾞ		
													FK	無石綿けい酸ｶﾙｼｳﾑ板		
													化粧KK	化粧ﾀｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板		
													DR	ｳｯｸ-ﾊﾞｰｽﾞ化粧吸音板		
													GB-R-H	普通硬質せっこうﾍﾞｰﾄﾞ		
													FG	繊維混入せっこうﾍﾞｰﾄﾞ		
													GB-R[耐火1]	GB-F t12.5+GB-R-H t9.5 [耐火1時間認定番号:FP060NP-0199]		
													その他部材略表示記号			
													VP	硬質塩化ビニル管		
													GP	ｶｽﾀﾑ (銅管)		
													GW24	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 24kg		
													GW10	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 10kg		



1階平面図 1:100



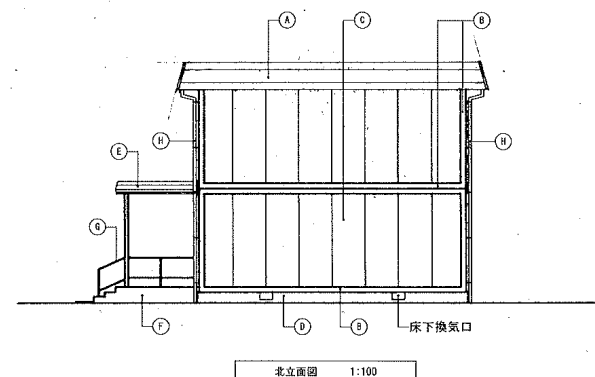
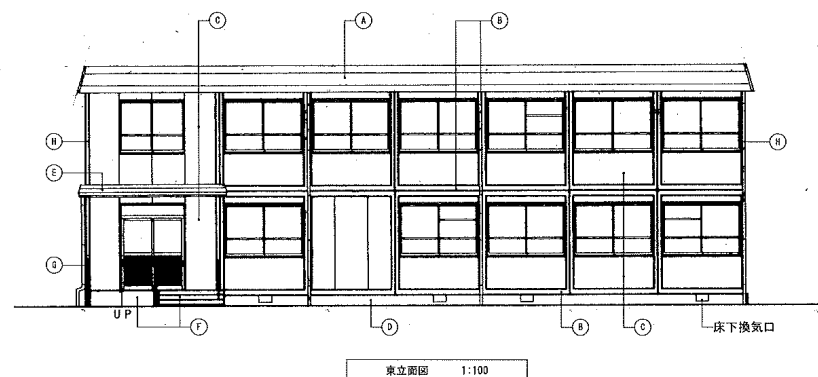
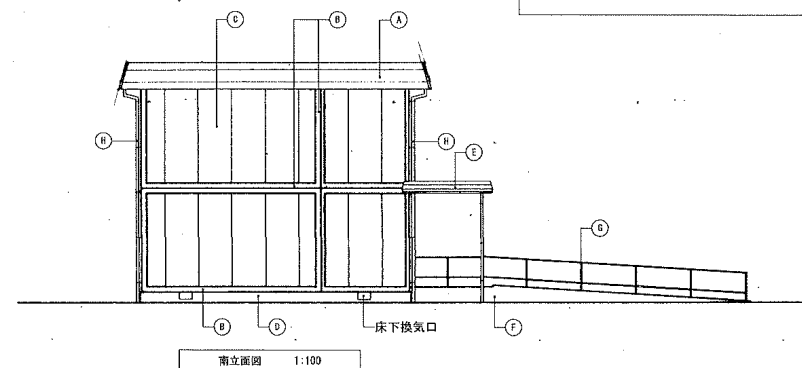
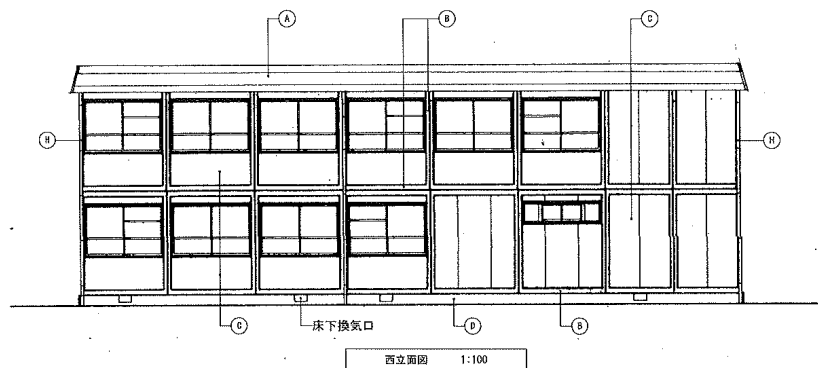
2階平面図 1:100

注) X 0 及び X 3 通りの壁には、ガラス t=50 24kg充填。(2階のみ)
その他の外壁側の壁内には、ガラス t=50 10kg充填。(1、2階共通)

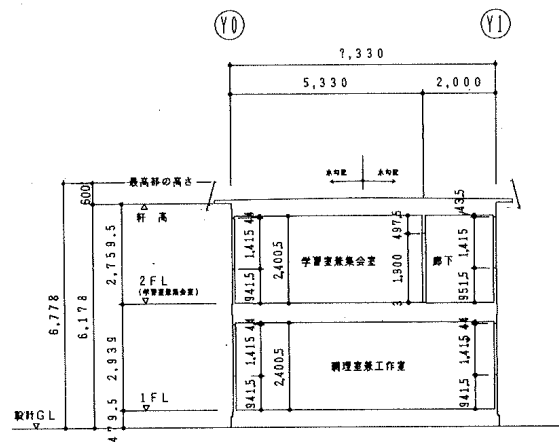
凡 例	
	点字タイプ(警告) 150 × 150
	点字タイプ(誘導) 150 × 150
	点字タイプ(警告) 300 × 300
	手すりを示す φ38(ステンレス 17')

特記なき限り全て解体処分とする。

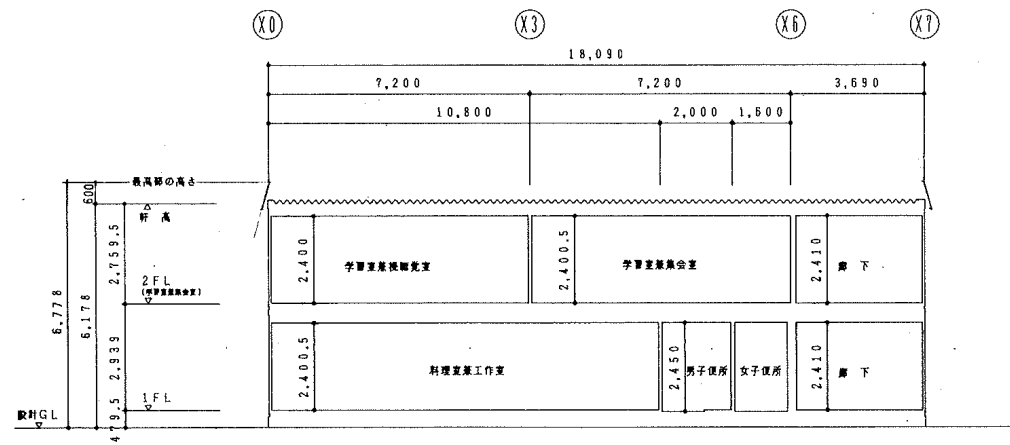
外部仕上		
記号	部位	仕上
(A)	軒先	杉-銅板 10.8 H=750
(B)	柱・梁	軽鋼鉄骨 110×110-標準塗装
(C)	外壁	横貫木片 110×110 12×12の吹付
(D)	端木	杉打放し
(E)	杉-杉先	杉-銅板 10.5 H=350
(F)	杉-杉-10-2	木口板
(G)	手摺	ステンレス 1/2" 38φ
(H)	壁紙	PP75φ



※特記なき限り全て解体処分とする。

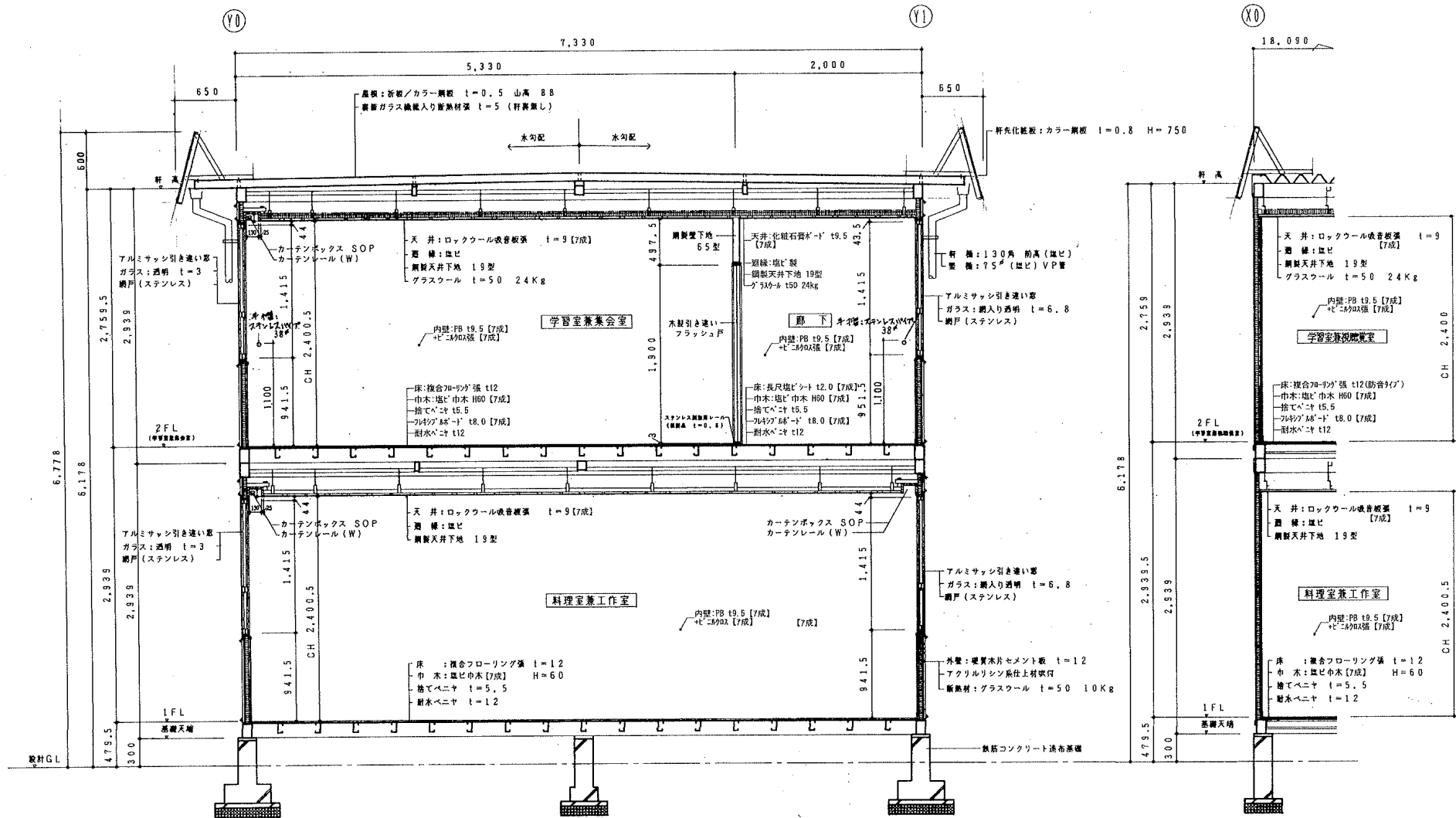


a~a' 断面图 1:100



b~b' 断面图 1:100

※特記なき限り全て解体処分とする。



断面詳細図 1:30

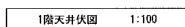
※ 学習室兼集客室の内壁下地は下記による。

Y1, Y0通り面: しなベニヤ t=4 (断熱材: グラスウール t=50 10Kg)

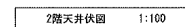
X0, X3通り面: PB (t=9.5) 貼りの上, 特殊ロックウール板 (t=14) 貼り。

(断熱材: グラスウール t=50 24Kg)

※特記なき限り全て解体処分とする。



 ---カーテンボックスを示す。



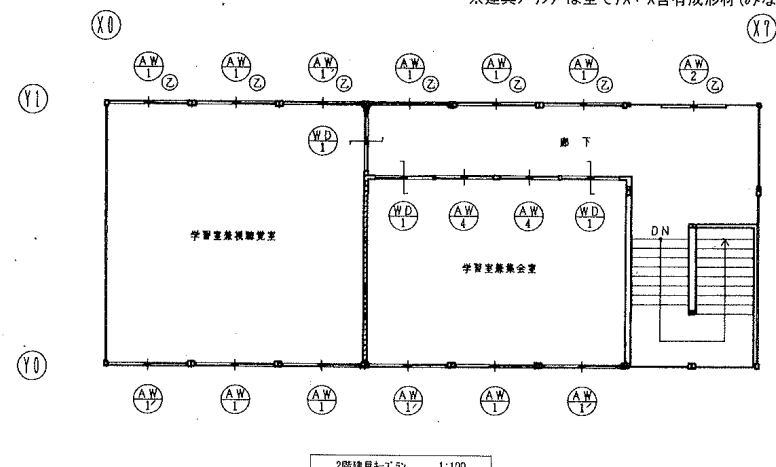
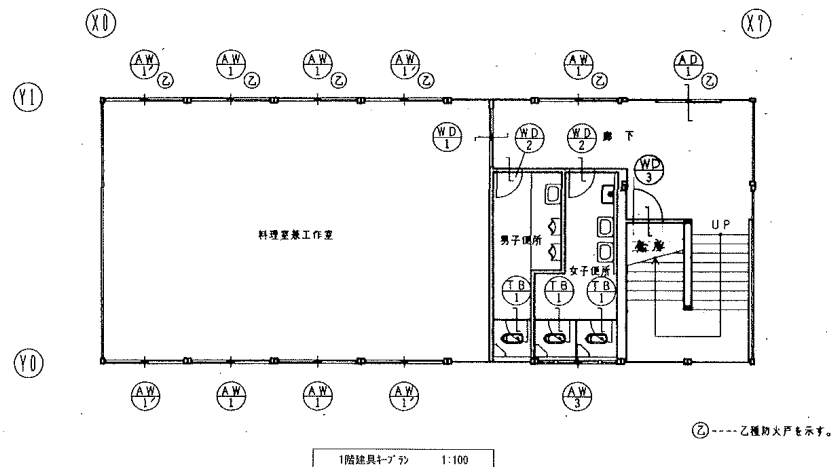
 ---カーテンボックスを示す。

凡 例	
	名 称
(A)	ロックウール吸音板 $t = 9$ [7成]
(B)	化粧石膏ボード $t = 9.5$ [7成]
(C)	ケイカル板 $t = 6$ EP
(D)	珪藻土板 SOP

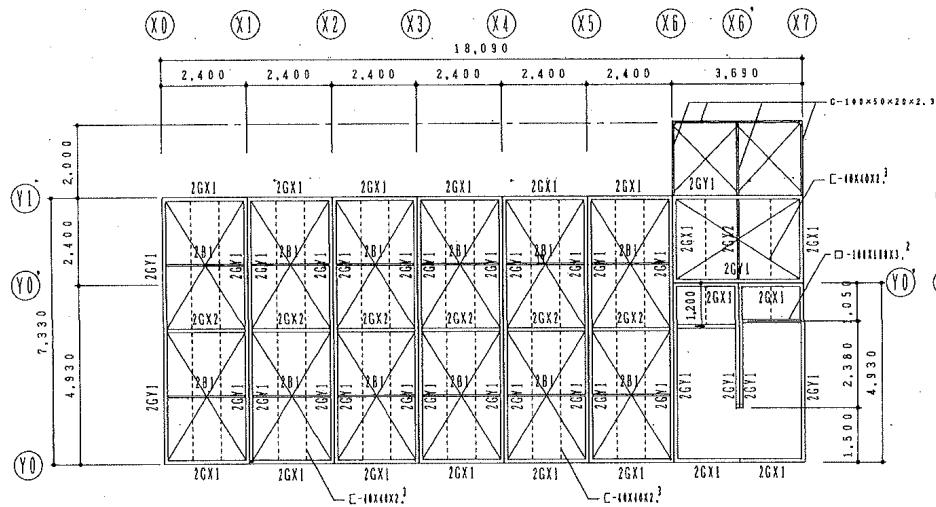
※特記なき限り全て解体処分とする。

記号	型式	(A/D 1)	アルミサッシ引き違い戸開閉付	(A/W 1)	アルミサッシ引き違い窓	(A/W 2)	アルミサッシ引き違い窓	(A/W 3)	ハメ取し付 アルミサッシ引き違い窓	(A/W 4)	アルミサッシ引き違い窓		
寸法	凡 込		80		60		60		60		65		
数量			1		21		1		1		2		
位置			1階廊下		料理室兼工作室、学習室兼視聴覚室 学習室兼集会室、1、2階廊下		2階廊下		女子便所		学習室兼集会室		
要 図													
品 質			アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		
ガラス			網入り透明 t=6.8 兼 アルミパネル		網入り透明 t=6.8 (8割) 網入り透明 t=6.8 (2割)		網入り透明 t=6.8		型紙 t=4		透明 t=3		
塗 装			シリリダー色 (内部サマターン)		クレセント、網戸 (ステンレス)		クレセント、網戸 (ステンレス)		クレセント、網戸 (ステンレス)		クレセント		
付属金物			シリリダー色 (内部サマターン)		クレセント、網戸 (ステンレス)		クレセント、網戸 (ステンレス)		クレセント、網戸 (ステンレス)		クレセント		
記号	型式	(W/D 1)	木製引き違いフラッシュ戸	(W/D 2)	木製片開きフラッシュ戸	(T/B 1)	トイレブース	(W/D 3)	木製片開きフラッシュ戸				
寸法	凡 込		33		33		40		33				
数量			4		2		3		1				
位置			料理室兼工作室、学習室兼視聴覚室、学習室兼集会室		男子、女子便所		男子、女子便所		廊下				
要 図													
品 質			両面シナベニヤ t=4		両面シナベニヤ t=4		ポリ合板、枠材：アルミ		両面シナベニヤ t=4				
ガラス			透明 t=3		透明ガラス t=4								
塗 装			SOP		SOP								
付属金物			引き手金物		重玉金物、ドアチェック		クレピティヒンジ (T型)、ラッチボルト		引き手金物				

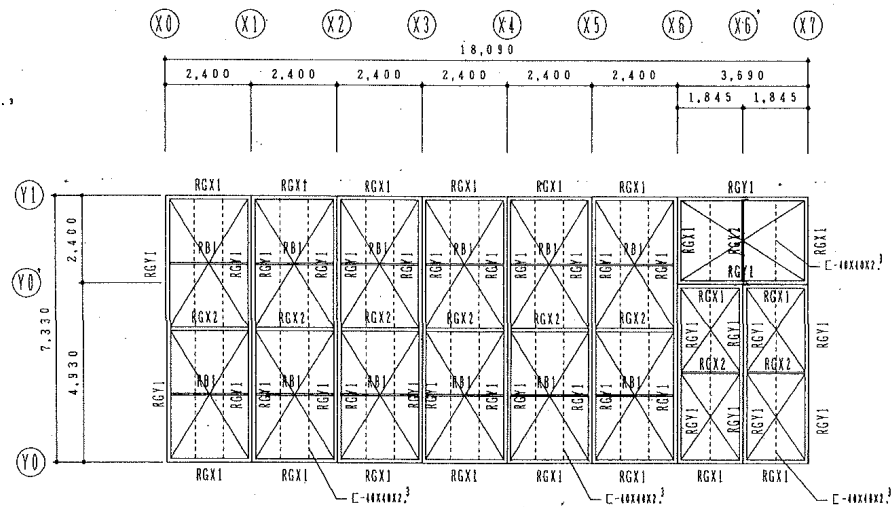
※建具シリングは全てTAS含有成形材(みなし)とする。



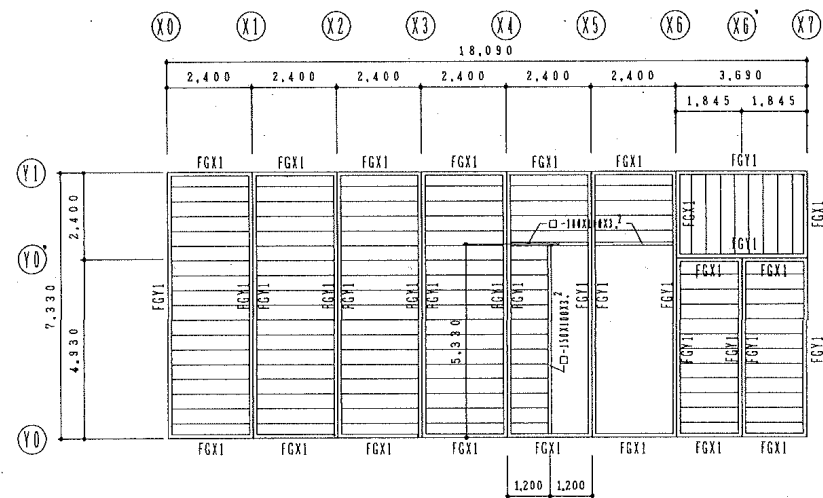
※特記なき限り全て解体処分とする。



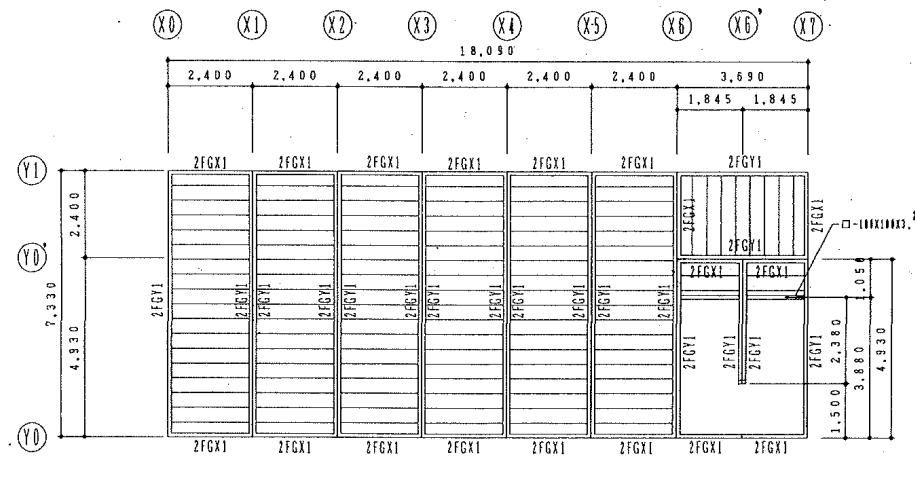
1階小屋伏図 1:100



2階小屋伏図 1:100

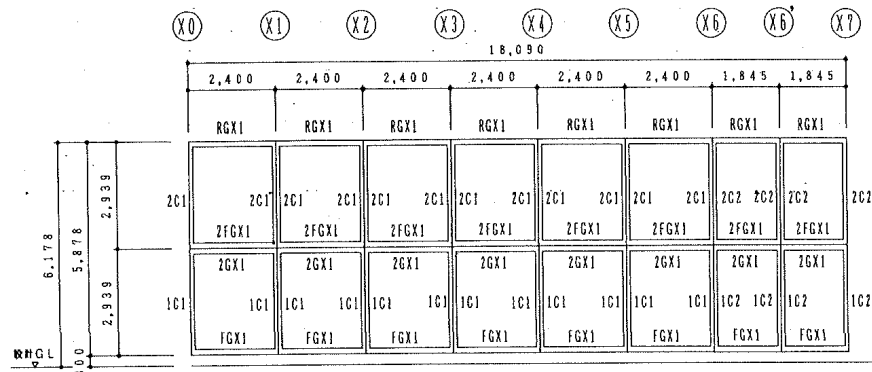


1階床伏図 1:100

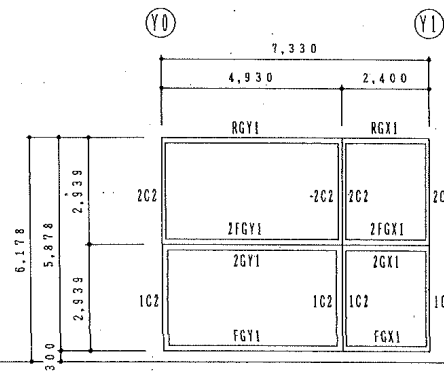


2階床伏図 1:100

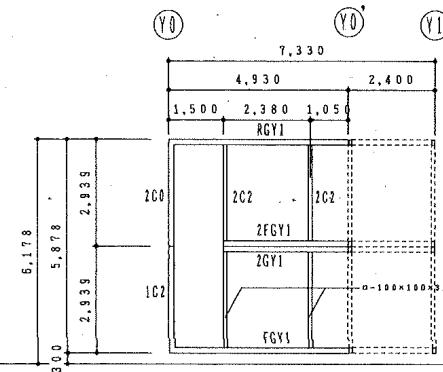
※特記なき限り全て解体処分とする。



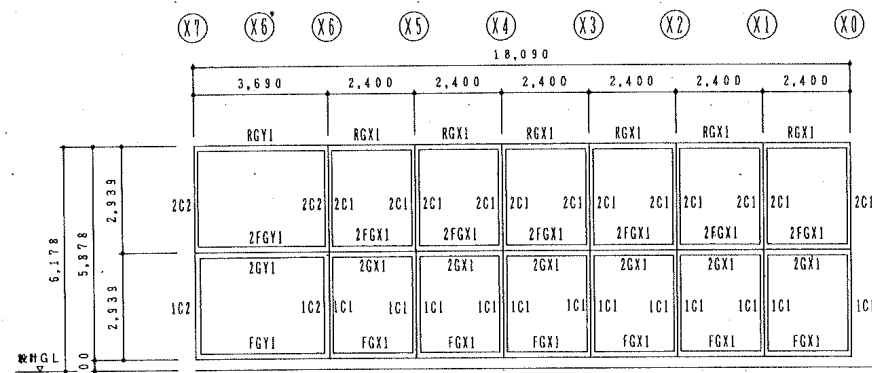
YO 軸組図 1:100



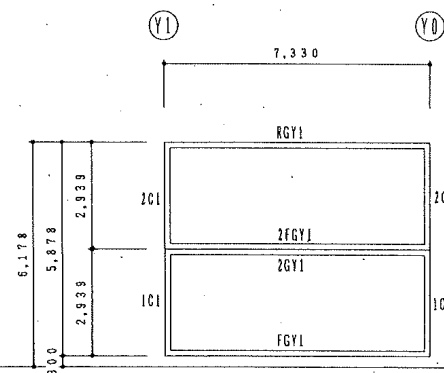
X7 軸組図 1:100



X6 軸組図 1:100



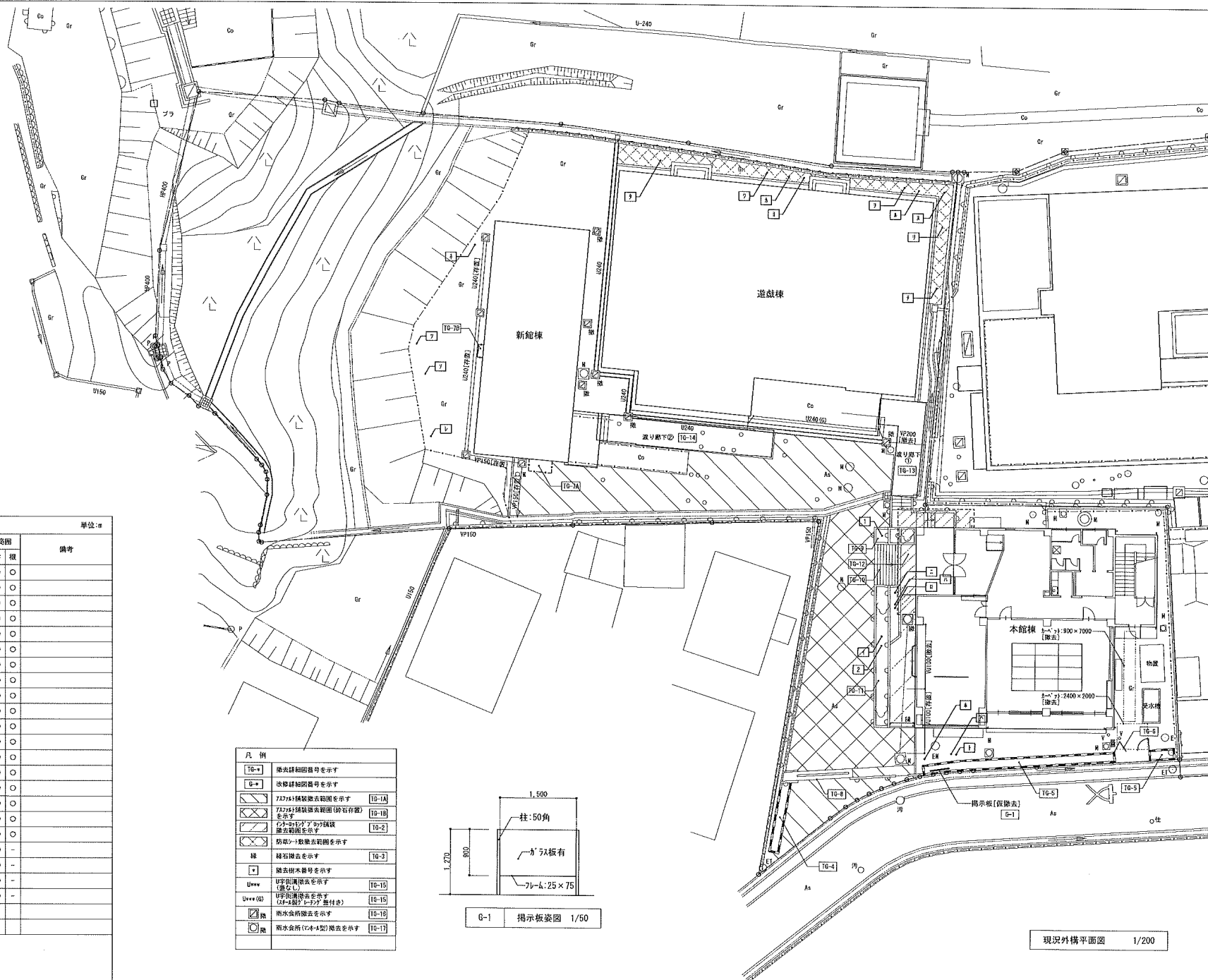
Y1 軸組図 1:100



X0 軸組図 1:100

部材リスト			
記号	部材	記号	部材
1C1	□-150×100×4. ⁵	2GX1	□-150×100×3. ²
1C2	□-150×100×3. ²	2G×2	□-100×100×2. ³
2C1	□-150×100×3. ²	2GY1	□-150×100×4. ⁵
2C2	□-100×100×3. ²	2B1	□-100×50×2. ³
2C0	□-100×100×3. ²	RGX1	□-150×100×3. ²
FGX1	□-150×100×3. ²	RGY1	□-150×100×3. ²
FGY1	□-150×100×4. ⁵	RGX2	□-100×100×2. ³
2FGX1	□-150×100×3. ²	RB1	□-100×50×2. ³
2FGY1	□-150×100×3. ²	木手ブレース	M 12
		根太	□-100×50×20×2. ³
			@407. ⁵

※特記なき限り全て解体処分とする。

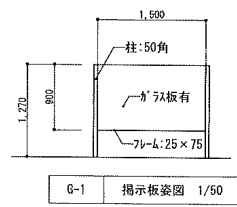


樹木リスト ※撤去範囲の○印の部位を撤去処分とする。 単位:m

番号	樹種	B(D)	C(D)	H	数量	撤去範囲	備考
1	サトウ	1.4	1.2	0.9	1	○ ○ ○	
2	サトウ	1.05	0.8	0.7	1	○ ○ ○	
イ	サトウ	0.95	0.23	2	1	○ ○ ○	
ロ	不明	2.1	0.16	2.9	1	○ ○ ○	
ハ	松	0.66	0.04	0.46	1	○ ○ ○	
ニ	不明	0.56	株立	0.35	1	○ ○ ○	
ホ	サトウ	0.7	株立	1.3	1	○ ○ ○	
ヘ	サトウ	1.0	0.13	2.15	4	○ ○ ○	
ト	切株	—	0.2	0.5	1	— ○ ○	
チ	サトウ	1.3	0.13	1.8	1	○ ○ ○	
リ	サトウ	1.6	0.09	3.1	1	○ ○ ○	
ヌ	サトウ	0.6	0.06	1.5	1	○ ○ ○	
ル	サトウ	1.1	0.08	2.3	5	○ ○ ○	
ヲ	サトウ(株)	—	0.10	1.16	1	— ○ ○	
ワ	サトウ	0.55	0.06	1.5	16	○ ○ ○	
カ	サトウ	1.0	株立	2.3	2	○ ○ ○	
コ	不明	0.8	株立	2.6	5	○ ○ ○	
ク	不明	0.8	0.07	2.1	7	○ ○ ○	
ケ	不明	4.0	0.24	6.5	1	○ ○ ○	
セ	不明	3.0	0.30	6.5	1	○ ○ ○	
ソ	不明	6.0	0.70	12.0	1	○ ○ ○	
タ	不明	7.0	0.80	12.0	1	○ ○ ○	

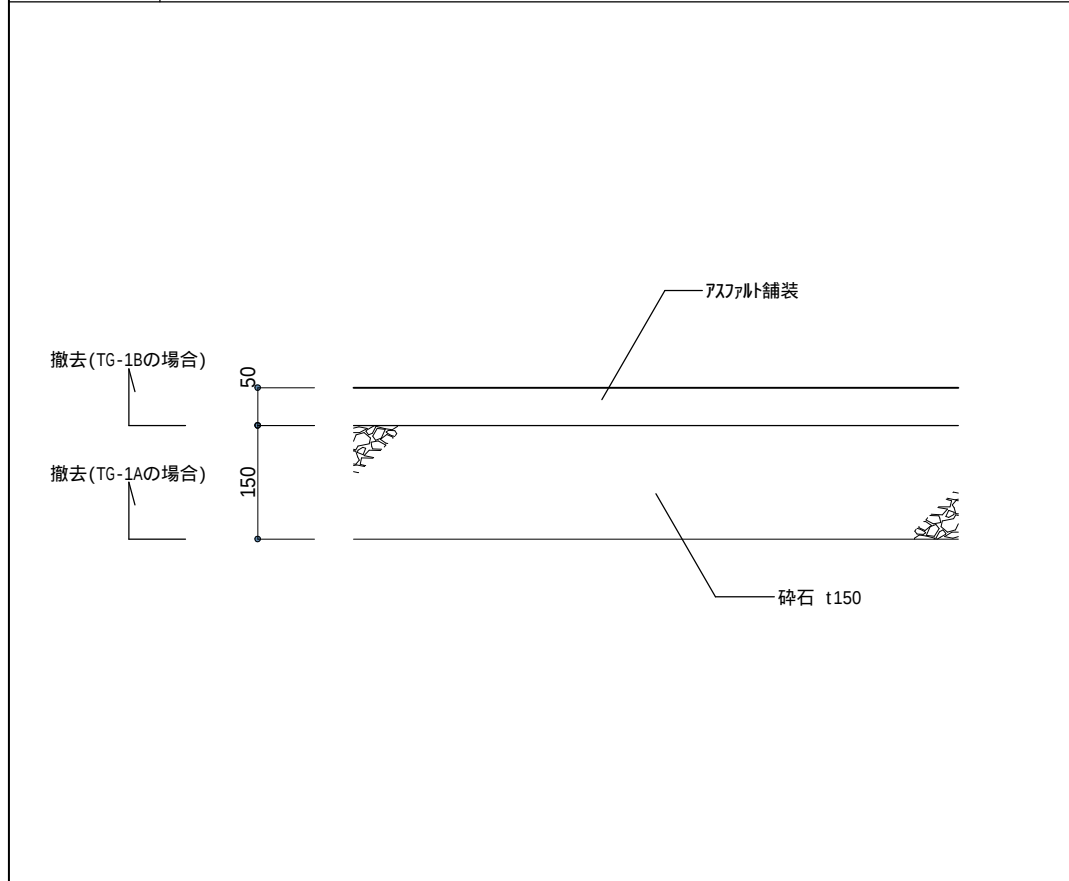
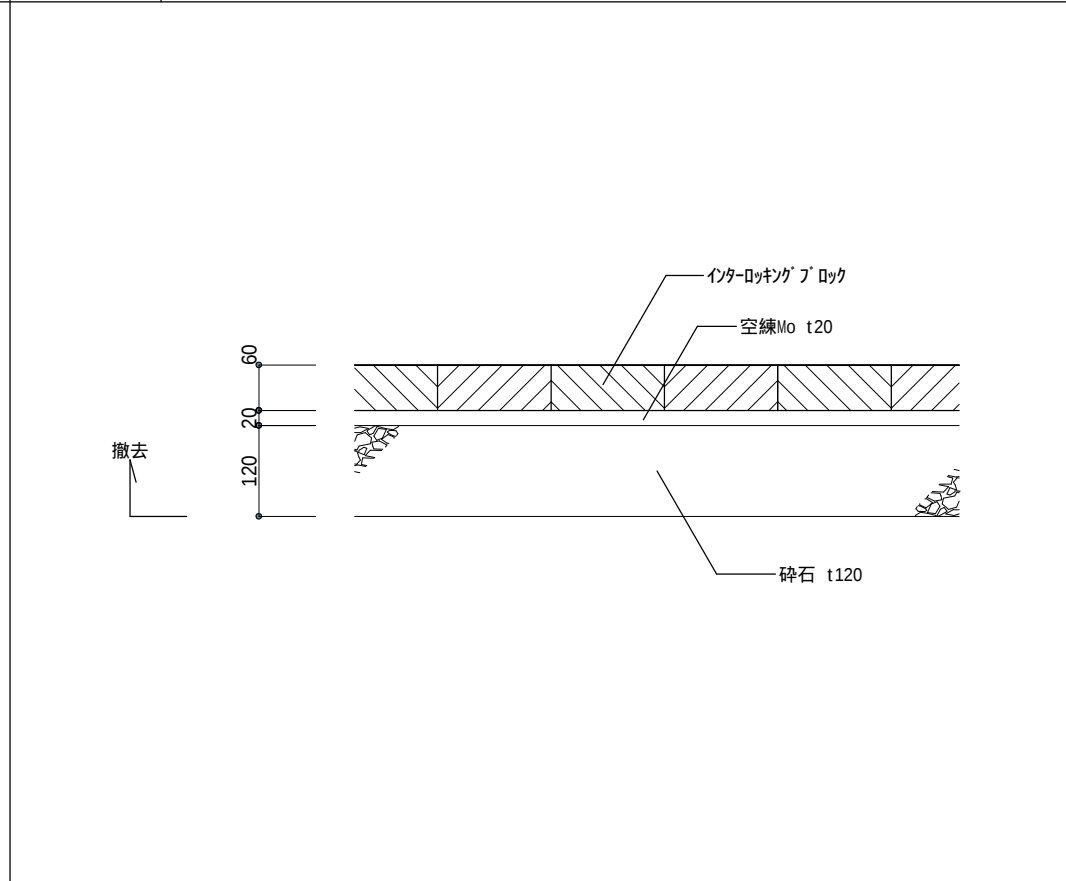
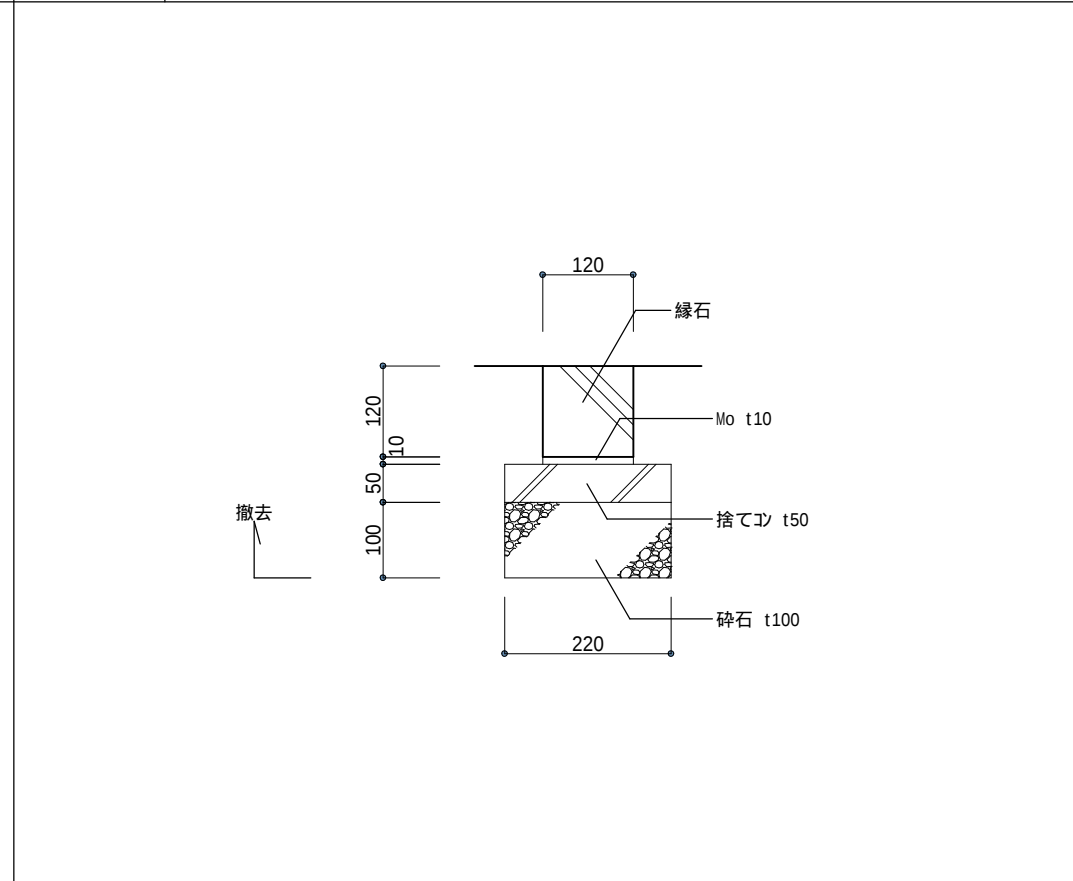
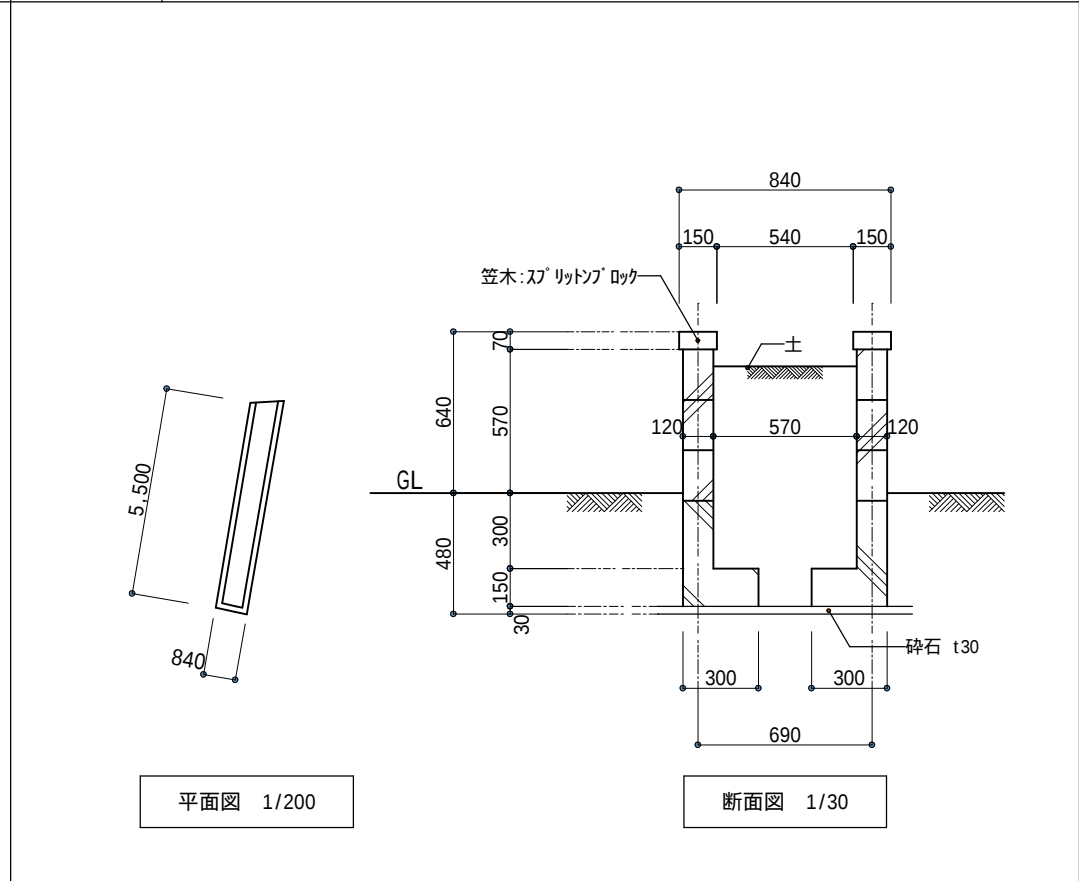
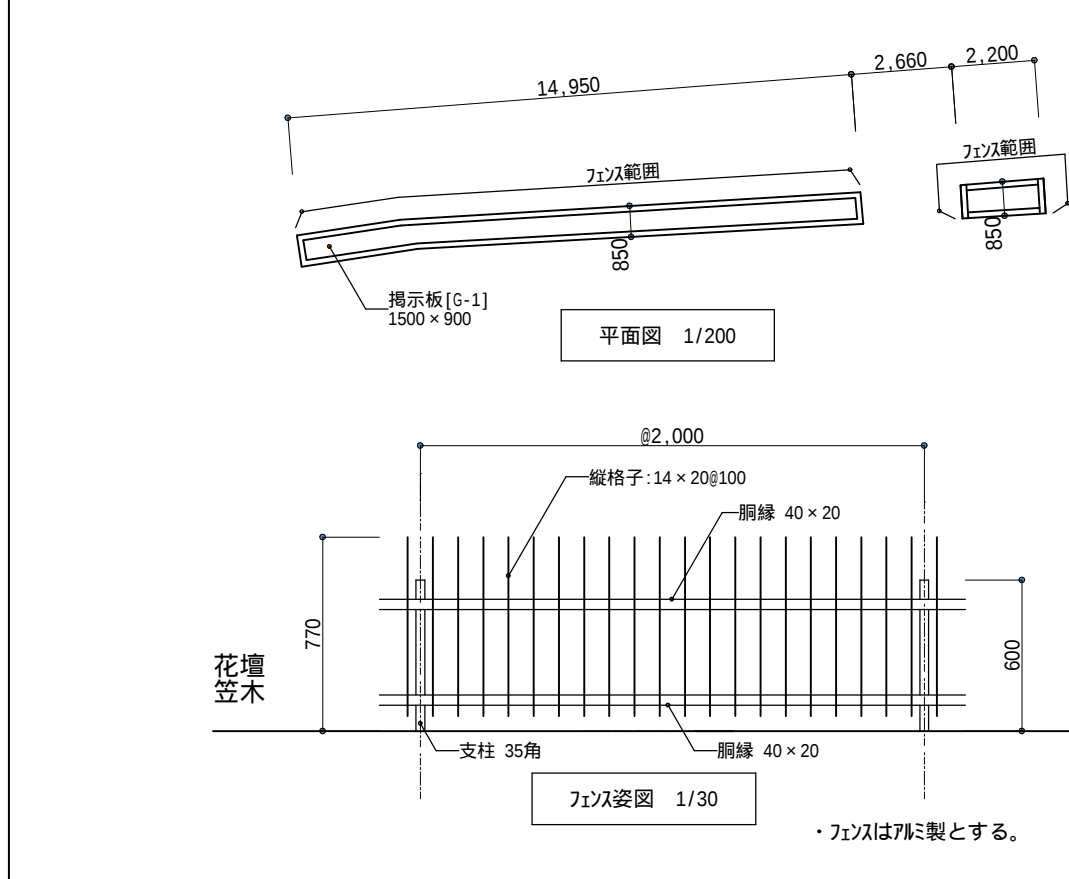
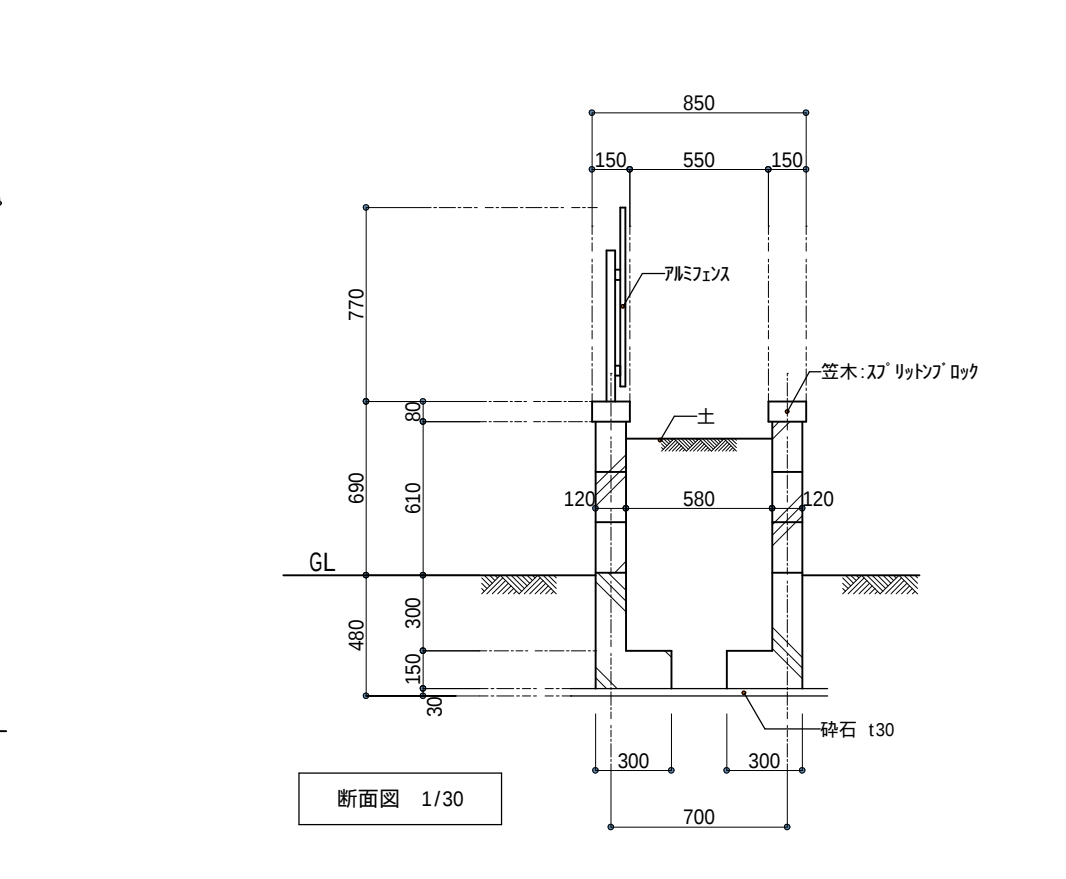
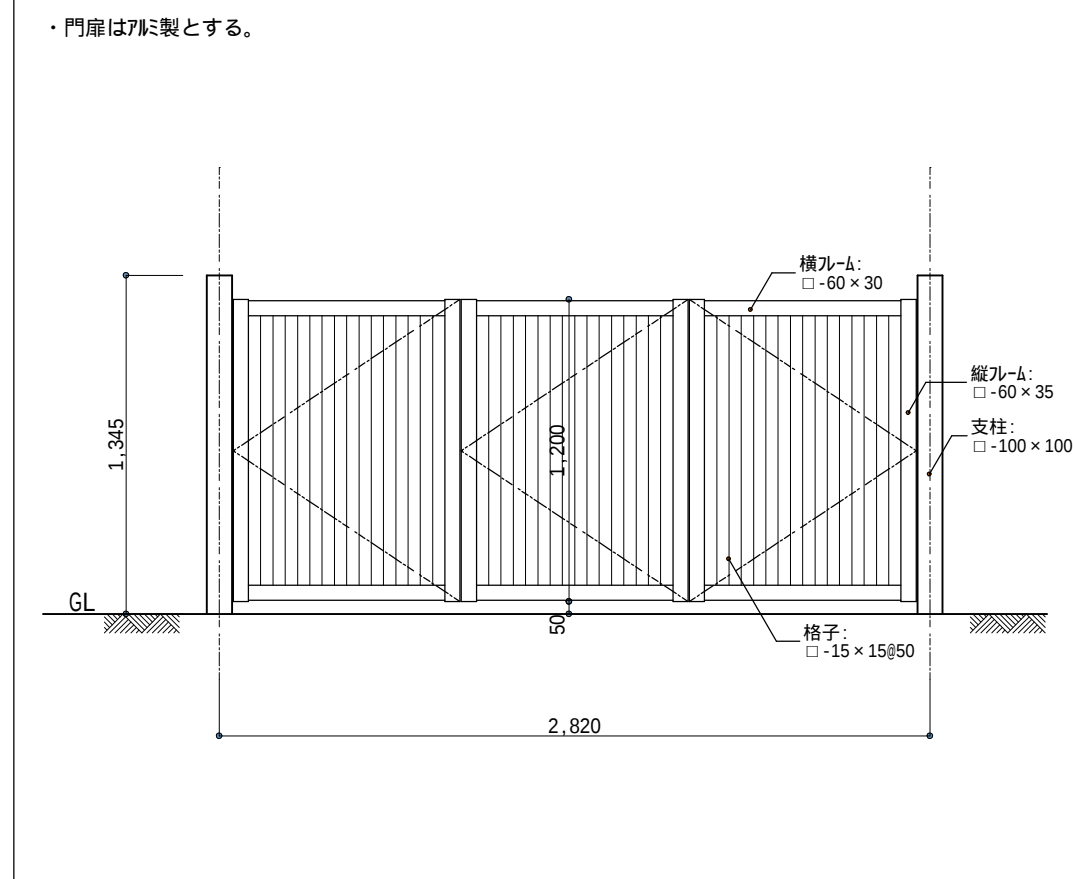
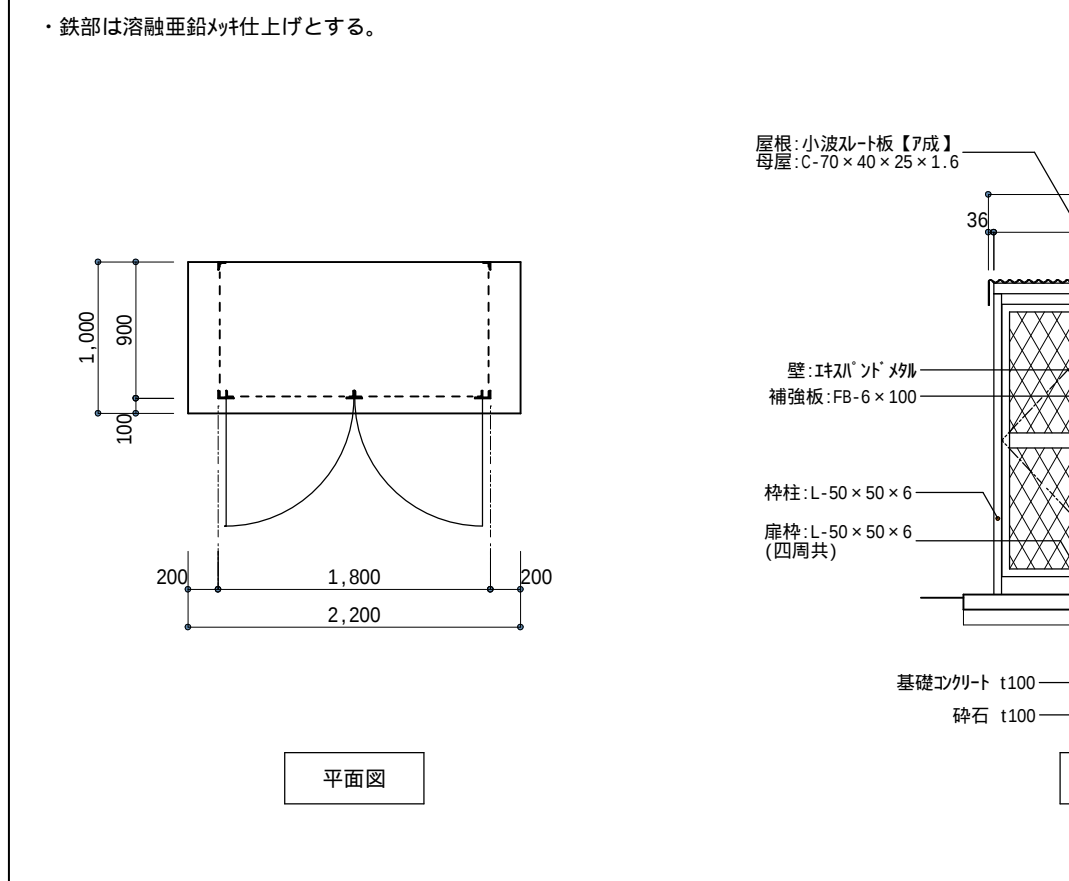
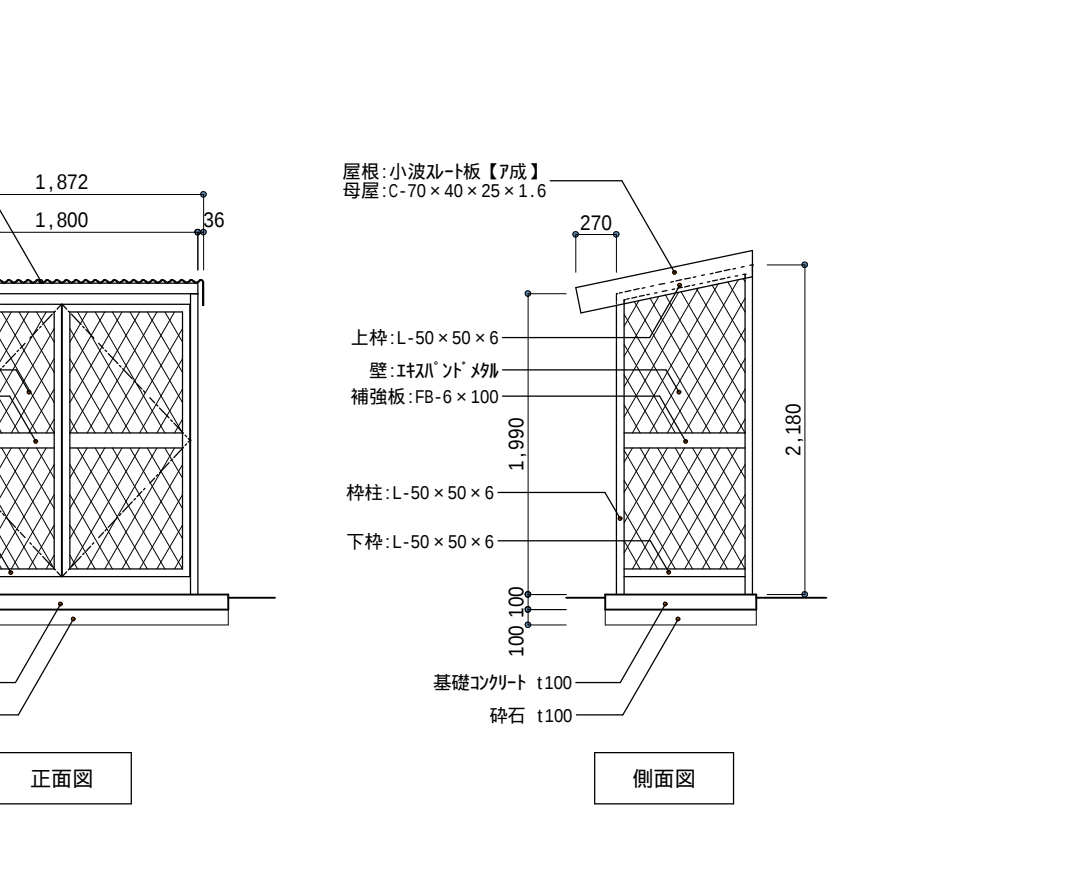
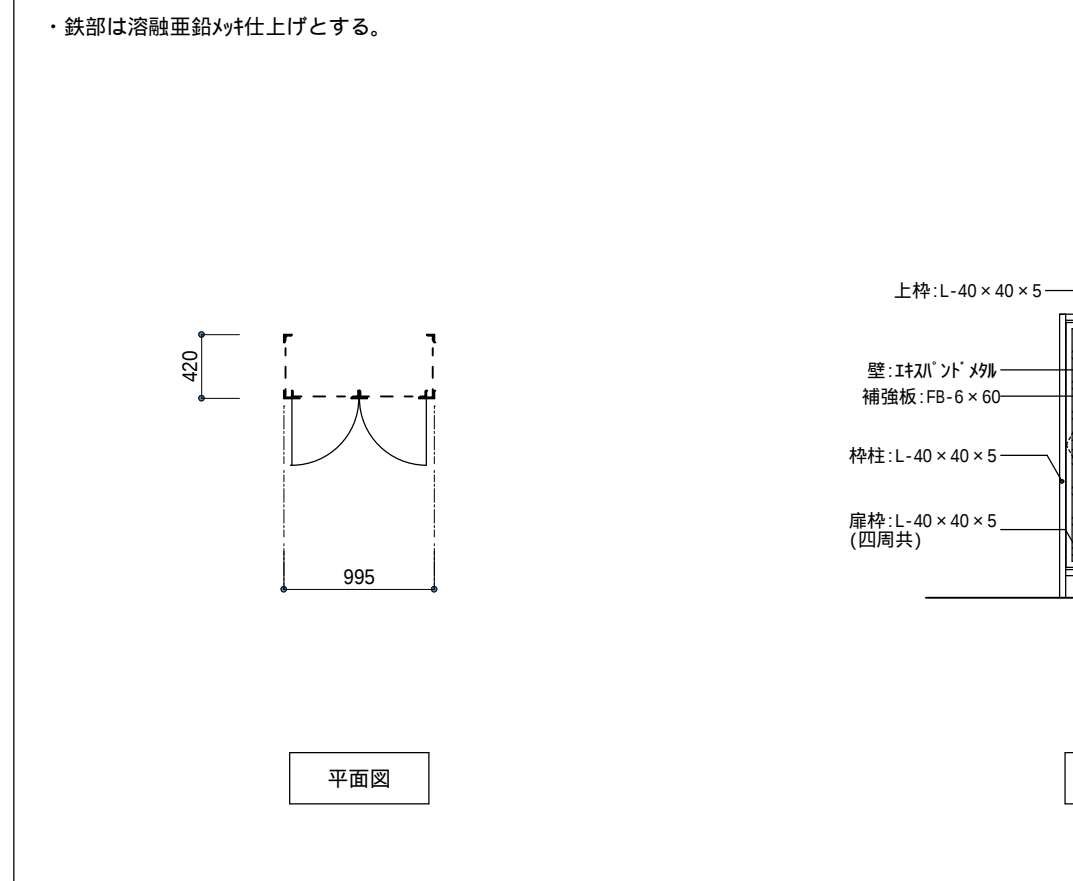
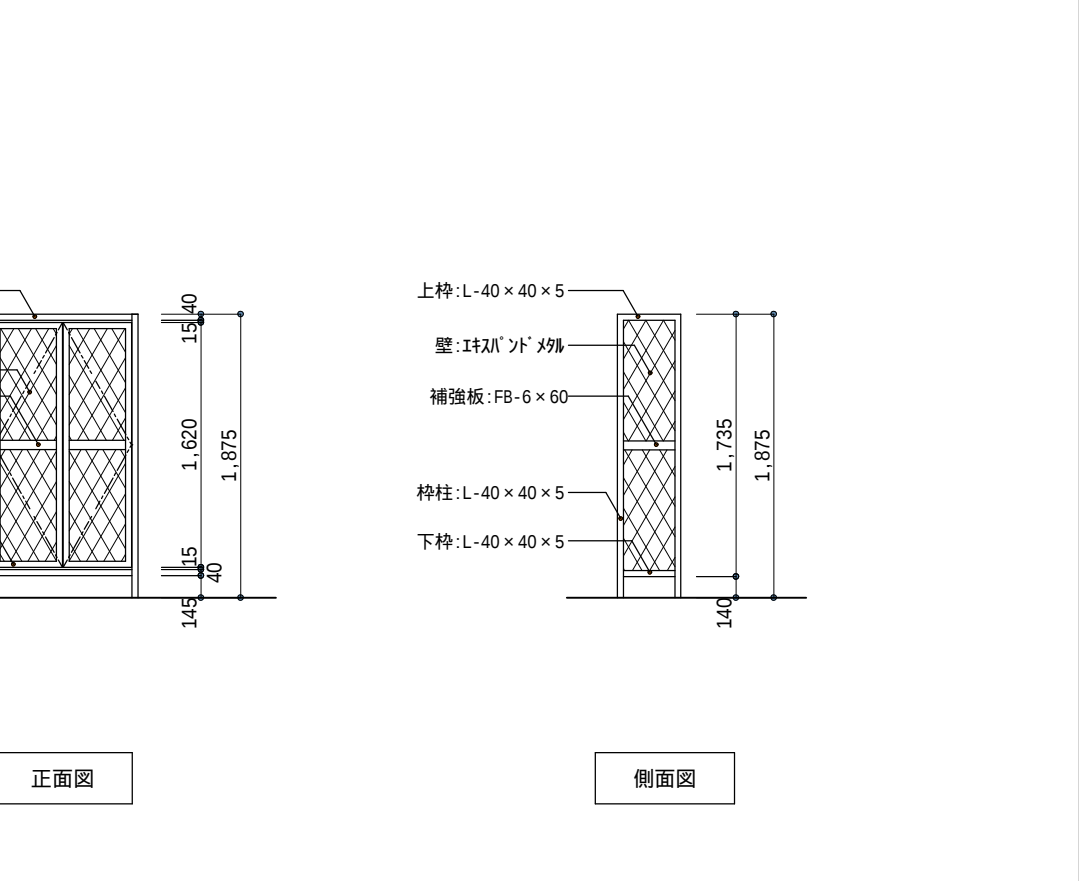
特記事項

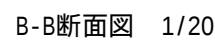
凡 例	
TG-1	撤去詳細図番号を示す
G-1	改修詳細図番号を示す
152/161	舗装撤去範囲を示す [TG-1A]
152/161	舗装撤去範囲(砕石付)を示す [TG-1B]
152/161	舗装撤去範囲を示す [TG-2]
152/161	防壁撤去範囲を示す
152/161	緑地撤去を示す [TG-3]
152/161	撤去樹木番号を示す
152/161	撤去樹木番号を示す (撤去後) [TG-15]
152/161	撤去樹木番号を示す (撤去後) [TG-15]
152/161	雨水金網撤去を示す [TG-16]
152/161	雨水金網撤去を示す [TG-17]

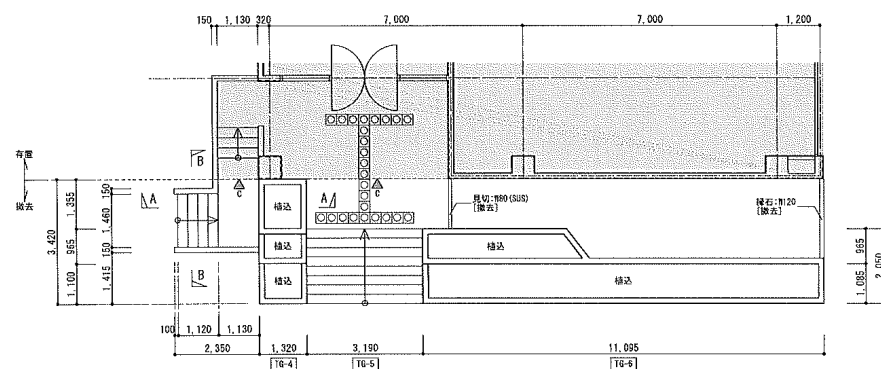
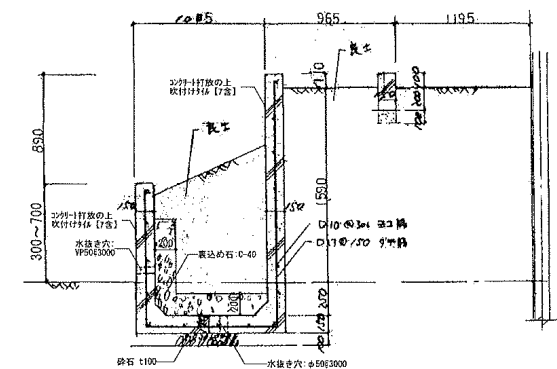
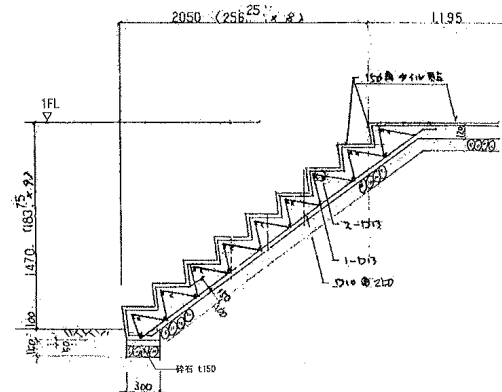
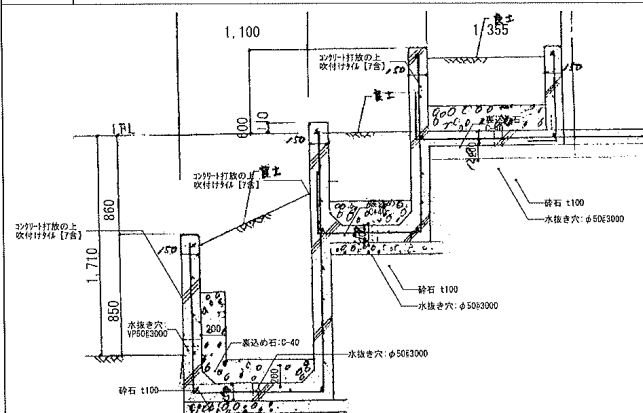


G-1 掲示板図 1/50

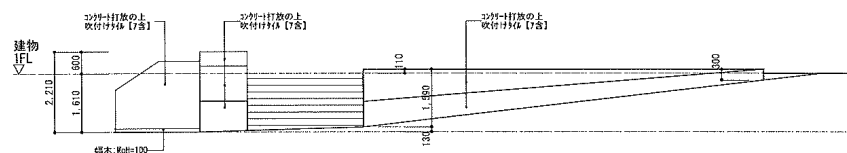
現状外構平面図 1/200

TG-1A、B		アスファルト舗装		1/10		TG-2		インターロッキングブロック舗装		1/10		TG-3		縁石		1/10		TG-4		花壇		1/30、1/200	
																							
TG-5		花壇		1/30、1/200		TG-6		門扉		1/30													
												・門扉はAに製とする。 											
TG-7A		ブロック置場		1/50		TG-7B		給湯器保護柵		1/50													
・鉄部は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。 						・鉄部は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。 						・鉄部は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。 											
訂正		令和 年 月 日										since1956 株式会社 小笠原設計		設計年月		令和 7年 10月		工事名称		善法青少年センター遊戯棟ほか解体工事		図面番号	
												OGASAHARA Architects & Engineers						図面名称		撤去外構詳細図(1)		縮尺	
												1級建築士事務所大阪府知事登録(レ)第599号								A2→図示		A-036	
												管理建築士 硯 正人 1級建築士登録番号第238350号											



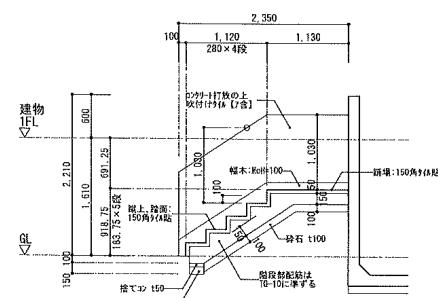


木一平圖圖 1/100

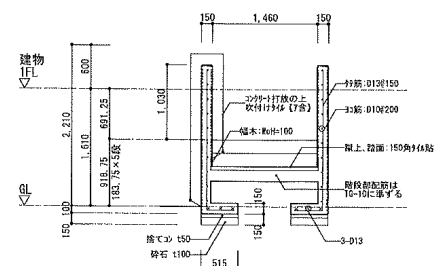


- | |
|---|
| 凡例 |
|  |
| ◀C |
| {7合} |

本一子姿四 1/100

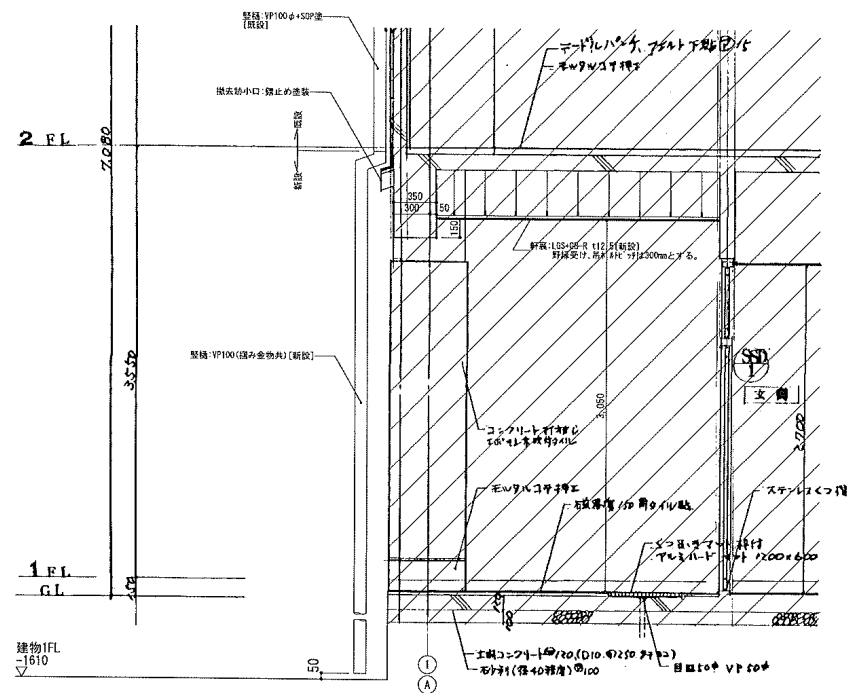


A-A断面図 1/50

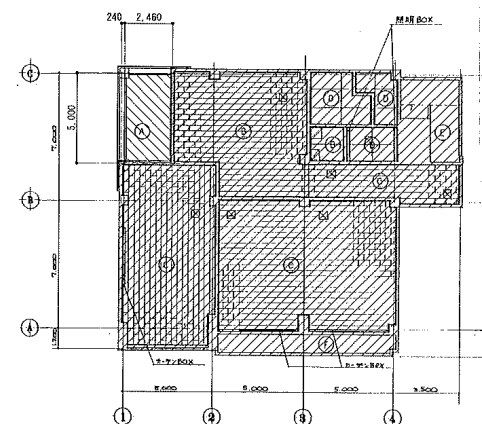


B-B断面图 1/50

改修後



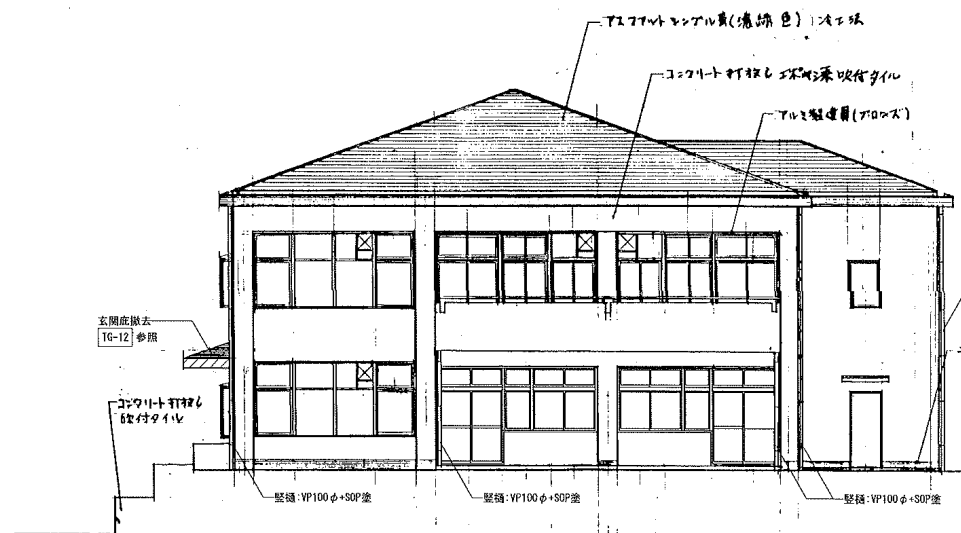
改修後断面図 1/30



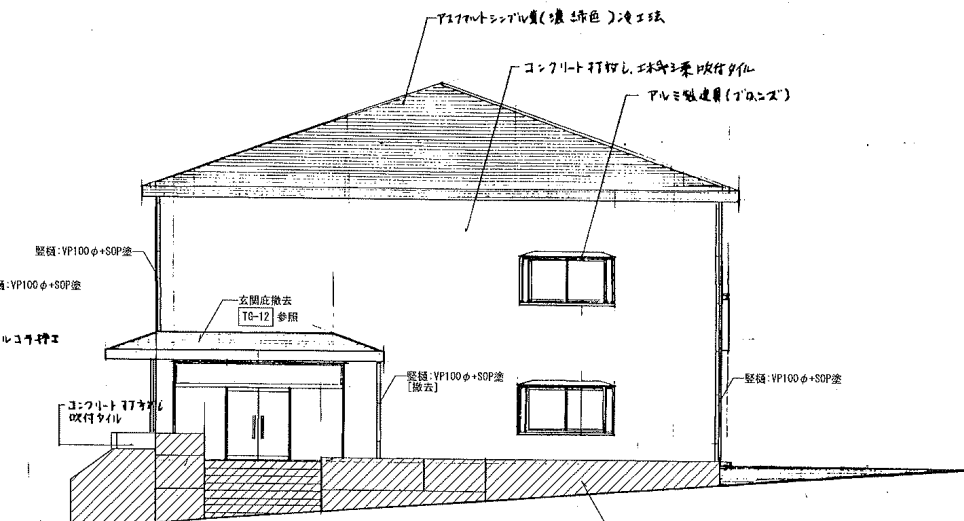
改修後天井伏図 1/200

凡 例	
	既設範圍を示す
	新設範囲を示す

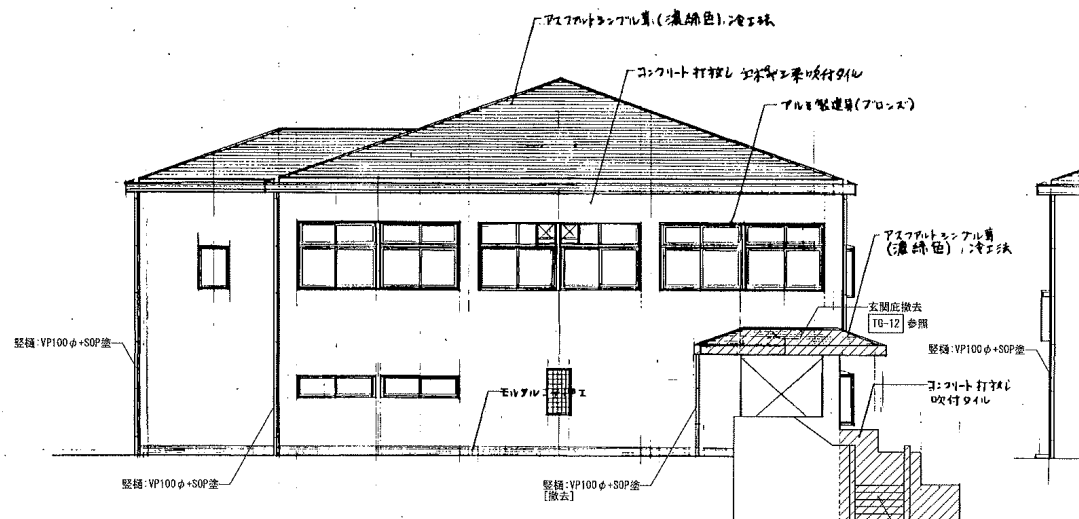
天祥住宅工程例			
(A)	1GS+GB-R t12.5	(新設)	(F) 2077+1打込し 2074+6
(B)	D-27w+12打込 0.5 (7打込)		
(C)	D-27w+12打込 0.5 (7打込)		
(D)	2074+27w+12打込 0.5 高床組上p1	(B)	高床組上 2074+27w+12打込 0.5 高床組上p1
(E)	2074+1打込し		



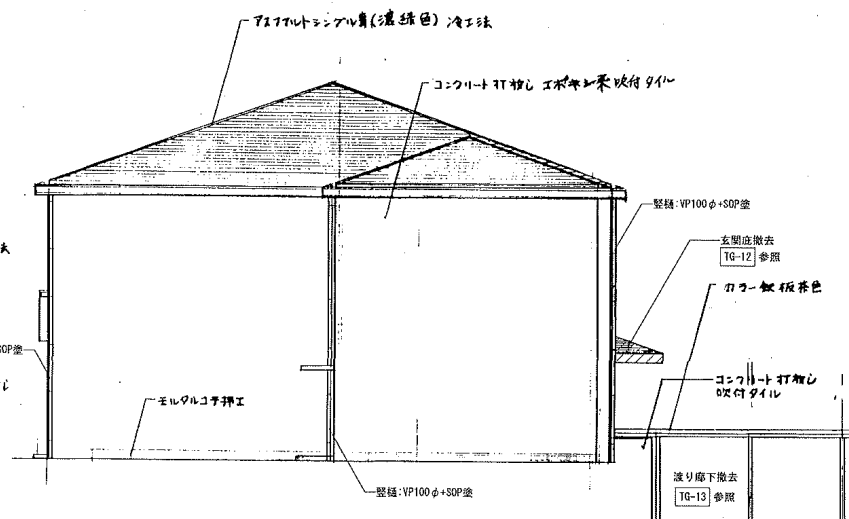
南立面図 S=1:100



西立面図 S=1:100

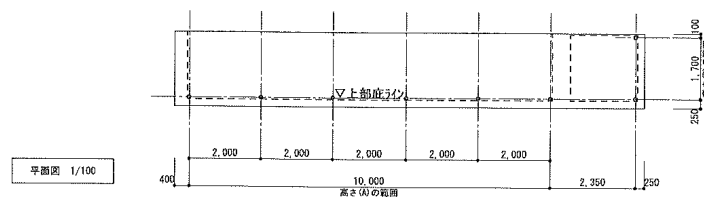
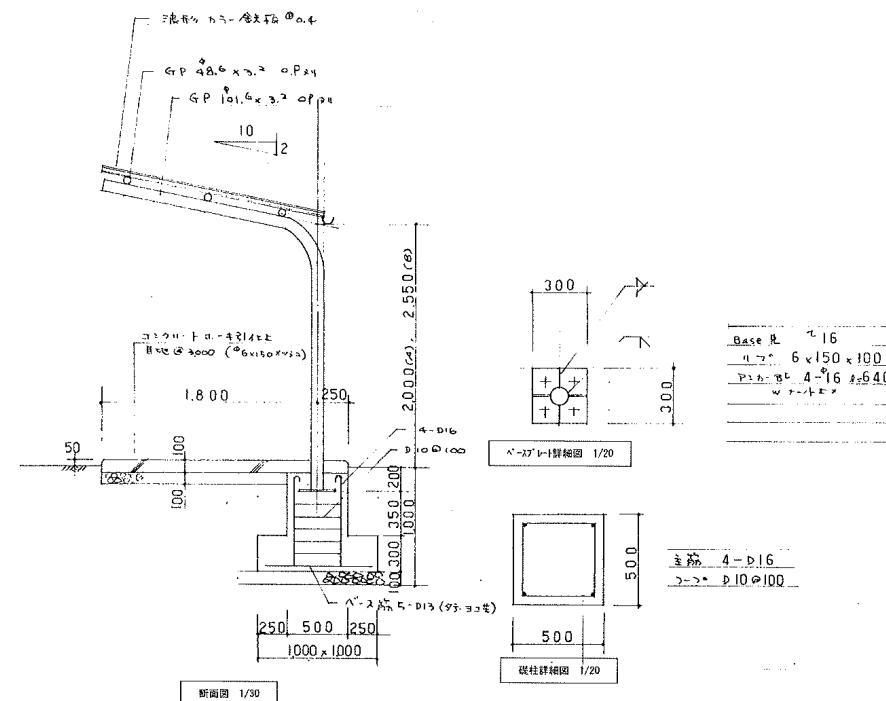
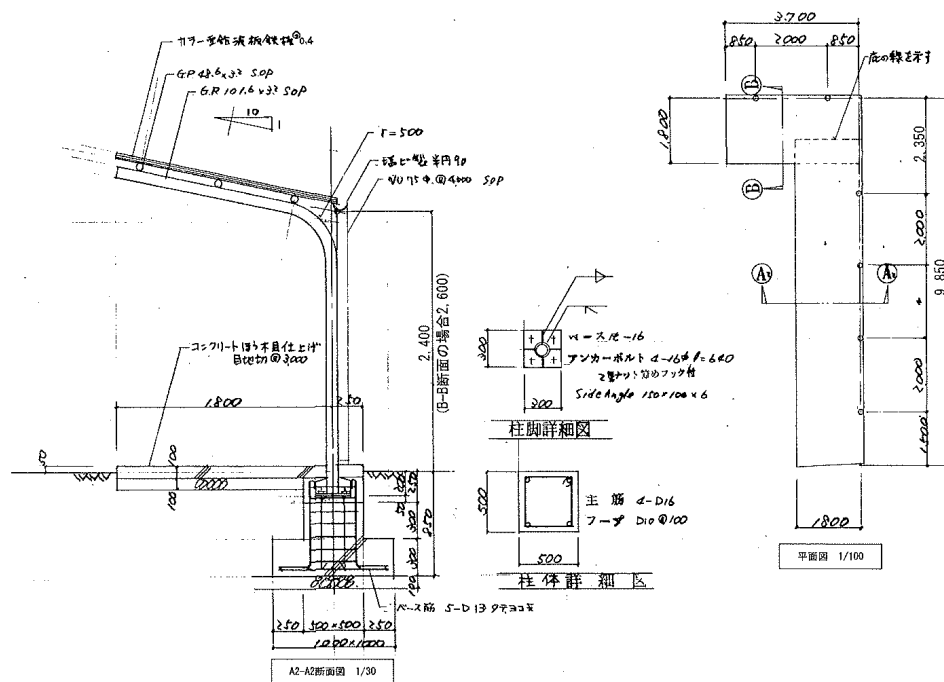


北立面図 S=1:100

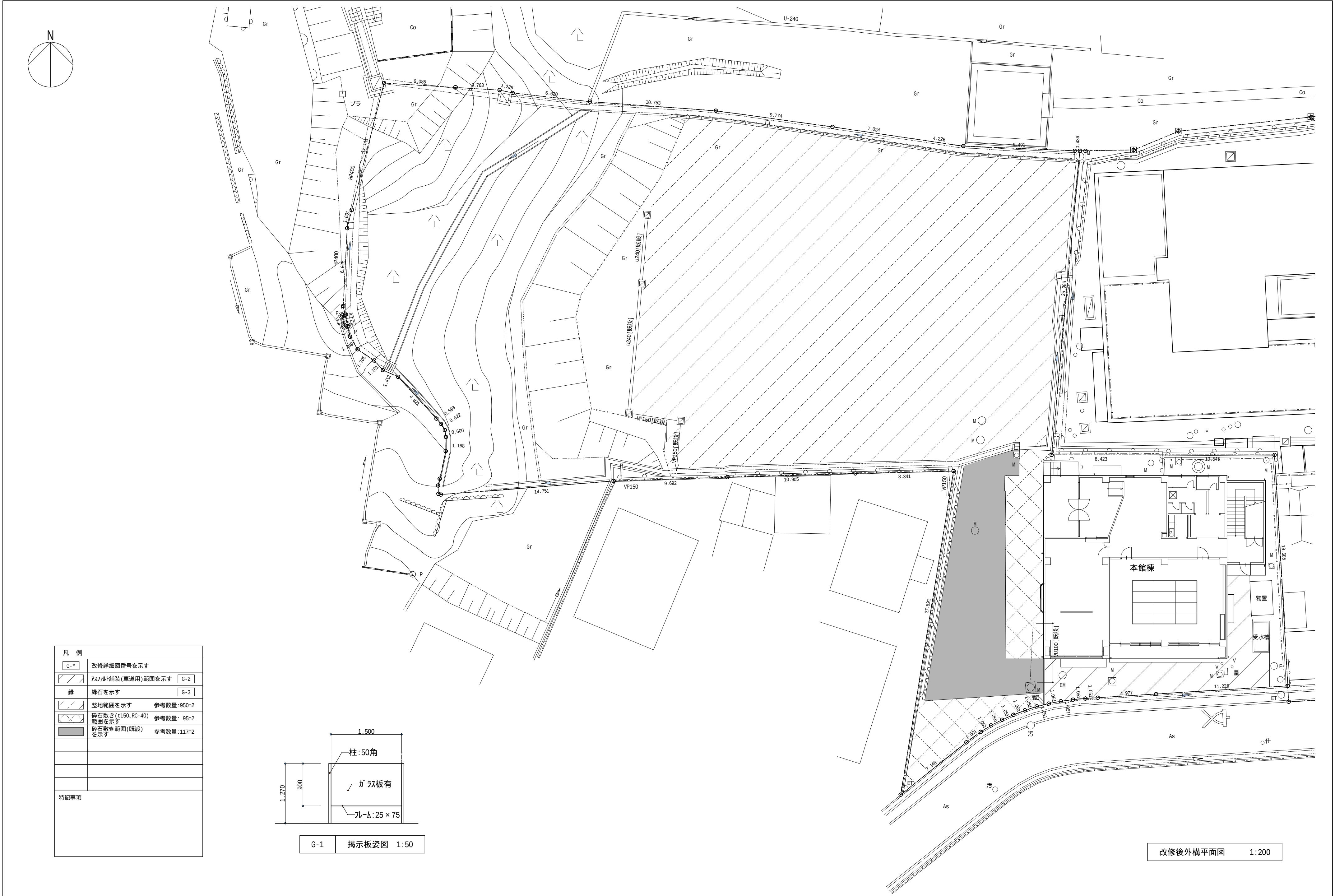


東立面図 S=1:100

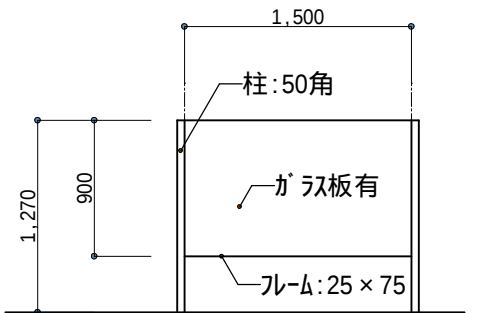
凡 例
撤去範囲を示す



TG-15		U字側溝		1/20		TG-16		雨水会所		1/20		TG-17		雨水会所(マンホ-ル蓋)		1/20					
GL 既製U字側溝 (W240): コンクリート製 Mo t30 砕石 t100 300 100 30 蓋なし GL 既製U字側溝 (W240): コンクリート製 Mo t30 砕石 t100 300 100 30 マンホ-ル製グレーチング 蓋 グレーチング 蓋付き <td colspan="6"> 600 600 600 100 上面図 75 450 75 600 100 コンクリート製蓋 t50 砕石 t100 調整コンクリート t50 断面図 <td colspan="6"> マンホ-ル蓋: 600φ 鋳鉄製 1,100 1,000 30 100 100 120 600 120 50 50 マンホ-ル蓋: 600φ 鋳鉄製 </td></td>						600 600 600 100 上面図 75 450 75 600 100 コンクリート製蓋 t50 砕石 t100 調整コンクリート t50 断面図 <td colspan="6"> マンホ-ル蓋: 600φ 鋳鉄製 1,100 1,000 30 100 100 120 600 120 50 50 マンホ-ル蓋: 600φ 鋳鉄製 </td>						マンホ-ル蓋: 600φ 鋳鉄製 1,100 1,000 30 100 100 120 600 120 50 50 マンホ-ル蓋: 600φ 鋳鉄製									



凡 例	
	改修詳細図番号を示す
	アスファルト舗装(車道用)範囲を示す
	緑
	緑石を示す
	整地範囲を示す
	砕石敷き(1150, RC-40)範囲を示す
	砕石敷き範囲(既設)を示す
特記事項	

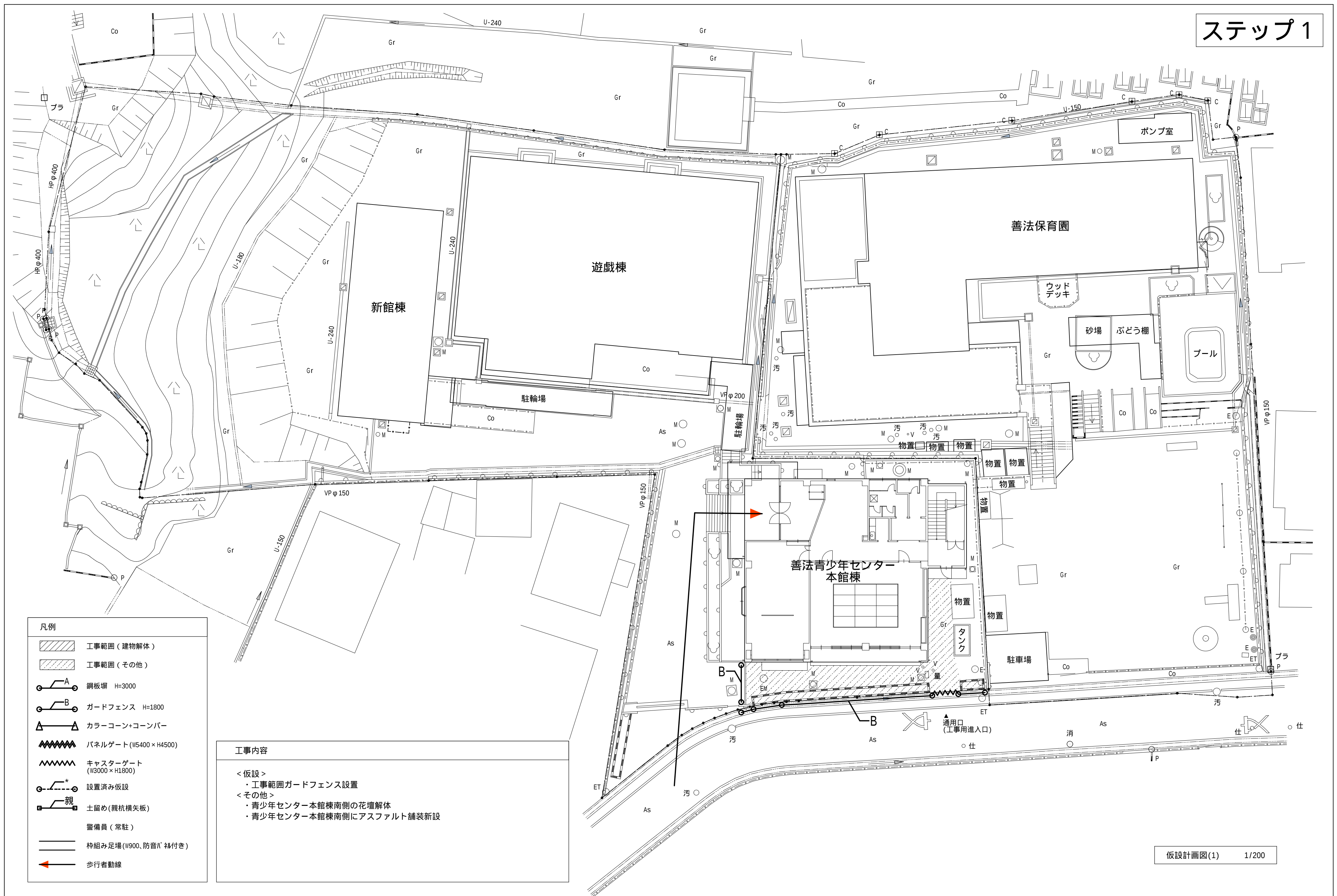


G-1 揭示板姿図 1:50

改修後外構平面図 1:200

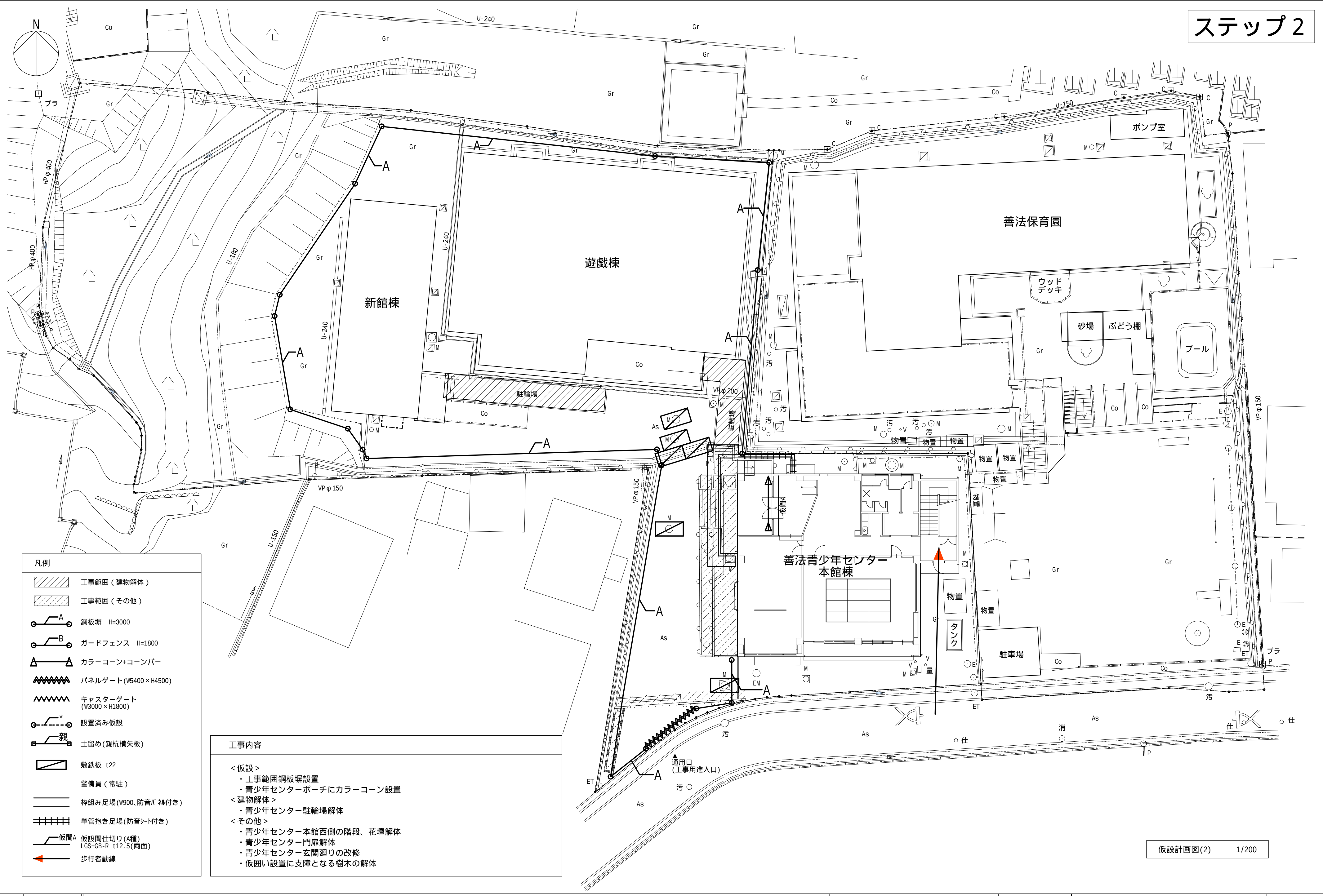
G-2		アスファルト舗装		1:10		G-3		縁石		1:10							

ステップ 1



仮設計画図(1) 1/200

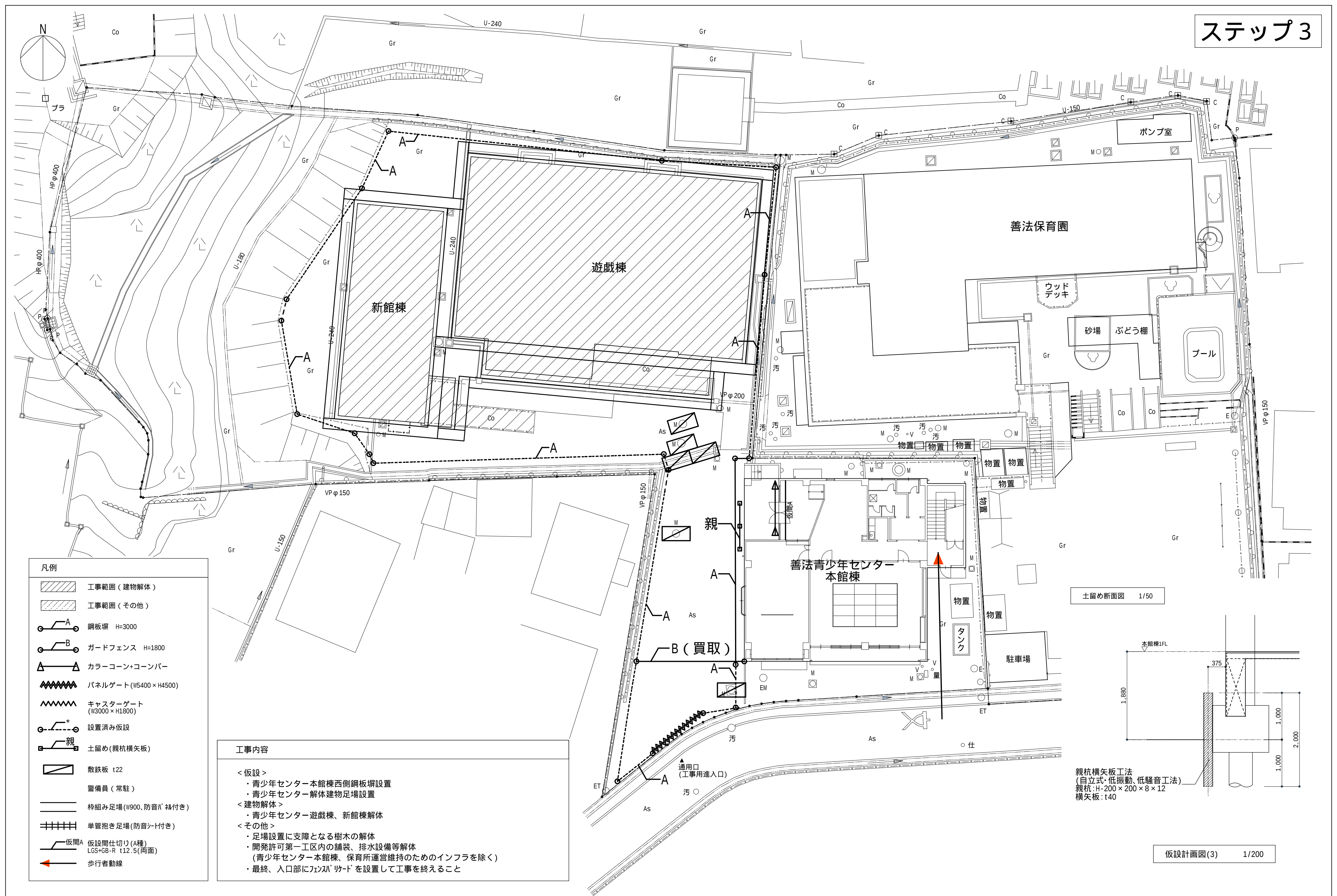
訂正	令和 年 月 日		 株式会社 小笠原設計 OGASAHARA Architects & Engineers 1級建築士事務所大阪府知事登録(レ)第593号 管理建築士 硯 正人 1級建築士登録番号第238350号	設計年月	令和 7年 10月	工事名称	善法青少年センター遊戯棟ほか解体工事	図面番号	A-045
				図面名称	飯設計画図(1)	縮尺	A2 - 1/200		



凡例	
	工事範囲（建物解体）
	工事範囲（その他）
	鋼板堀 H=3000
	ガードフェンス H=1800
	カラーコーン+コーンバー
	パネルゲート(W5400×H4500)
	キャスターゲート(W3000×H1800)
	設置済み仮設
	土留め(親杭横矢板)
	敷鉄板 t22
	警備員（常駐）
	枠組み足場(W900、防音バ 柵付き)
	単管抱き足場(防音シート付き)
	仮設間仕切り(A種) LGS+GB-R t12.5(両面)
	歩行者動線

工事内容
< 仮設 >
・ 工事範囲鋼板堀設置
・ 青少年センターポーチにカラーコーン設置
< 建物解体 >
・ 青少年センター駐輪場解体
< その他 >
・ 青少年センター本館西側の階段、花壇解体
・ 青少年センター門扉解体
・ 青少年センター玄関廻りの改修
・ 仮囲い設置に支障となる樹木の解体

仮設計画図(2) 1/200



凡例

- 工事範囲（建物解体）
- 工事範囲（その他）
- 銅板塀 H=3000
- ガードフェンス H=1800
- カラーコーン+コーンバー
- パネルゲート (W5400 × H4500)
- キャスターゲート (W3000 × H1800)
- 設置済み仮設
- 土留め(親杭横矢板)
- 敷鉄板 t22
- 警備員（常駐）
- 枠組み足場 (W900、防音バ 付付き)
- 単管抱き足場 (防音シート付き)
- 仮設間仕切り (A種) LGS+GB-R t12.5(両面)
- 歩行者動線

工事内容

< 仮設 >

- ・ 青少年センター本館棟西側銅板塀設置
- ・ 青少年センター解体建物足場設置

< 建物解体 >

- ・ 青少年センター遊戯棟、新館棟解体

< その他 >

- ・ 足場設置に支障となる樹木の解体
- ・ 開発許可第一工区内の舗装、排水設備等解体
- ・ 青少年センター本館棟、保育所運営維持のためのインフラを除く
- ・ 最終、入口部にフェンスバ リードを設置して工事を終えること

土留め断面図 1/50

親杭横矢板工法
(自立式・低振動、低騒音工法)
親杭: H-200 × 200 × 8 × 12
横矢板: t40

仮設計画図(3) 1/200